

III. 資料

資料 1

■ コアプロ 事業統括部会

■ 平成 27 年度 第 1 回議事録

日 時 : 2015 年 5 月 28 日 (木) 17:00-17:15
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 奥田、高畑、日垣、淵岡、樋口、牛嶋 (記録)
欠席者(敬称略) : 吉田
議 題 : 1. 事業進捗状況報告

【 議 事 】

1. 学内報告方法
 - ・学長への報告：高畑研究科長から行う
2. 地域リハビリテーション学コース検討部会報告
 - (1) 招聘講師依頼状況の報告
 - (2) 学内講師との事務連絡、撮影日程調整：事務局が行う（学内イエローページ参照）
 - (3) 撮影時の著作権：主従関係を明記する
3. 学士教育プログラム検討部会報告
 - (1) 非常勤講師任用：本日承認
 - (2) 演習室の環境整備：工期が遅れる可能性あり（見積は 5 月末には出る予定）
 - (3) 講義日程：担当講師の日程を今月～来月にかけて調整
⇒全講義日程を決定、講義で使用する物品・備品も確定
 - (4) 今後のスケジュール：評価方法の検討に取りかかる
4. 学習支援環境検討部会報告
 - ・受講生の環境構築：昨年度にほぼ完了

次回会議日程 : 未定

資料 2

■ コアプロ 事業統括部会

■ 平成 27 年度 第 2 回議事録

日 時 : 2016 年 1 月 14 日 (木) 10:50~11:05
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 奥田、高畑、吉田、日垣、淵岡、樋口、椿、牛嶋 (記録)
議 題 : 外部評価委員会について
資 料 : 1. 評価報告書 (案)
2. 学外委員からのコメント

【 議 事 】

1. 外部評価委員会についての報告検討

- (1) 本年度報告書の作成：評価部分の案について、修正箇所等の確認 (資料 1)
- (2) 昨年度事業に対する外部評価委員からのコメントについて、本年度事業において反映できているかどうかを確認、次年度の課題等を検討 (資料 2)
- (3) 本年度事業に対する外部評価委員会について、現在学外委員の継続可否を確認であることを報告 (樋口)
- (4) 本年度事業に対する外部評価委員会について、会議開催日程の調整
候補日：2016 年 4 月 2 日 (土)、16 日 (土)、30 日 (土)
*上記候補日で学外委員に出席可能か伺う (担当：事務局 牛嶋)
- (5) 本年度の外部評価指標について検討 (資料 1)
 - ・初年度版から改訂が必要かどうか
 - ・達成度評価が必要では？

次 回 会 議 日 程 : 未定

資料 3

■ コアプロ 受講者選考委員会

■ 平成 27 年度 第 1 期生受講者選考委員会 議事録

日 時 : 2015 年 8 月 7 日 (金) 14:00-14:30
場 所 : 総合リハビリテーション学部長室
出席者(敬称略) : 奥田、高畑、吉田、日垣、淵岡、樋口、牛嶋 (記録)
議 題 : 地域リハビリテーション学コース第 1 期生の選考
資 料 : 1. 地域リハビリテーション学コース第 1 期生申請者リスト
決 定 事 項 : 地域リハビリテーション学コース第 1 期生としての受講可能者 (内定者) を決定した。

【 議 事 】

1. 選考基準の説明

プロジェクトリーダー樋口より、選考基準の説明

- ・原則、申請条件を満たしている中での申請順とする。
但し、同一施設の勤務先から複数の申請がある場合は、先着の 1 人のみを受講可能とする。
- ・プログラムへの示唆を得ることを目的とし、学外者、本学卒業生 (PT)、本学卒業生 (OT) の申請者の 3 区分から受講者を選考する。各区分の選考基準は以下の通り。
 - (1) 学外者：申請条件を満たしている申請者の中での先着順とする。
 - (2) 本学卒業生 (PT、OT 共通)：モニターとしてプログラムに意見をフィードバック可能な者及びファシリテーターとなりプログラム推進に協力可能な者を優先する。

2. 受講者の決定

- (1) 学外者：申請者リスト (資料 1) 記載の通り
- (2) 本学卒業生：申請者リスト (資料 1) 記載の通り
 - a) 理学療法学専攻 理学療法学専攻教員による検討の後、決定した。
 - b) 作業療法学専攻 作業療法学専攻教員による検討の後、決定した。

3. 来期以降の募集について

第 1 期生募集に定員の倍以上の申請があったことから、来期以降の定員増を検討

- ・受講者 1 人あたり約 8 万円の費用が必要
検討課題：通信費の受講者負担、通信端末 (iPad) の貸与終了

資料 4

■ コアプロ 受講者選考委員会

■ 平成 27 年度 第 2 期生受講者選考委員会 議事録

日 時 : 2016 年 1 月 14 日 (木) 10:30-11:03
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 奥田、高畑、吉田、日垣、淵岡、樋口、椿、牛嶋 (記録)
議 題 : 地域リハビリテーション学コース第 2 期生の選考
資 料 : 1. 地域リハビリテーション学コース第 2 期生申請者リスト
決 定 事 項 : 地域リハビリテーション学コース第 2 期生の受講可能者(内定者)を決定した。

【 議 事 】

1. 第 1 期生の受講状況報告
 - ・プロジェクトリーダー樋口より、e-learning 講義の受講状況、受講生からの問合せ等について報告
2. 第 2 期生の申請状況説明
 - ・原則、申請条件を満たしている中での申請順とする
 - ・定員 40 人のところ、42 人の申請があった
3. 第 2 期生の選考条件
 - ・申請者は、申請者リスト(資料 1)記載の通り
 - ・定員を超過する申請があったため、下記 2 案を提示
 - 案 1) 定員枠を広げ、申請者 42 人全員を受け容れる
 - 案 2) 定員枠を広げず、申請者から 40 人を選考する
 - ⇒委員全員の確認ののち、案 1 を採用することに決定
4. 受講者の決定
 - ・申請者リスト(資料 1)記載の通り
 - ・42 人の申請者のうち、理学療法士は 31 人、作業療法士は 11 人
5. 第 3 期の募集について
 - ・第 1 期生の受講状況及び第 2 期生の募集状況を鑑み、第 3 期定員は 20 人とする予定
 - ・申請者リストのフォーマットの最終学歴欄を見やすいように修正する(2 期分も差替え)
 - ・募集開始前に大々的に広報活動を行うこととする

資料 5

■ コアプロ 企画調整会議

■ 平成 27 年度 第 1 回議事録

日 時 : 2015 年 4 月 9 日 (木) 10:00~12:10
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 高畑、淵岡、樋口、西川 (智)、牛嶋 (記録)
議 題 : 年度開始にあたっての各種報告
資 料 : 1. 日本経済新聞記事 (2015 年 3 月 26 日)「患者情報、地域で共有」
決 定 事 項 : 医療情報の共有について、大阪府の担当者に問い合わせ、情報収集を行うこととした。

【 審 議 事 項 】

1. 医療情報の共有について
 - ・高畑より、3 月 26 日付け日本経済新聞の記事を紹介 (資料 1)
 - ・大阪府の担当者に問い合わせ、情報収集を行うこととする

【 報 告 事 項 】

1. 文科省への提出書類について
 - ・ホームページ等の取組状況報告⇒更新回数、箇所について及び今後の更新について確認
2. 地域リハ学履修証明プログラムについて
 - ・学内講師の依頼結果について、高畑より報告
⇒各講師に、講義してもらいたい内容を仕分ける (5 月までに)
*時間数の確認、個別の打ち合わせが必要 (シラバスの雛形を作成して渡す)
 - ・外部講師からの問い合わせについて、事務局より報告
⇒対象が学生ではなく現職者であることを念押しする必要あり
 - ・撮影について、詳細を委託業者に確認する
3. 学士課程教育プログラムについて
 - ・H26 年度報告書に、動画コンテンツについて別添えをつける予定
 - ・H26 年度作成の動画をタブレット端末にのせ、学生に確認させる予定
4. 外部評価委員会について
 - ・4 月 25 日 (土) に開催、学内委員は全員出席
5. 事務員の雇用について
 - ・4 月 13 日から 1 人増員 (蕨野 OT)、5 月 1 日から追加で 1 人採用予定
6. 学習支援環境について
 - ・模擬遠隔授業の報告⇒通信状態は良好、データ容量の大きい通信についてもテストを行う
*気になる点としては、TeleOffice は多人数に対する話しかけは反応がないため、やりづらい
7. 本年度の部会編成について
 - ・H27 年度の体制を報告 (資料 2) ⇒広報部会は発展的解消、大阪モデル検討部会を新設

次 回 会 議 日 程 : 4 月 16 日 (木) 9:30~ *次週から毎回 9:30~開催 場 所 : D508

資料 6

■ コアプロ 事業企画調整会議

■ 平成 27 年度 第 2 回議事録

日 時 : 2015 年 4 月 16 日 (木) 9:30~10:15
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 高畑、樋口、西川 (智)、淵岡、牛嶋 (記録)
議 題 : 地域リハビリテーション学コース進捗状況報告等

【 報 告 事 項 】

1. 高畑研究科長より

■ 地域リハ学コース講師依頼状況

- ・ 近藤研究科長 : 内諾
- ・ ■■■先生 : 依頼内容 (セキュリティの基本) について、こちらからの提案が必要
⇒ 「リテラシーとセキュリティ」の講義内容を検討 (担当 : 淵岡)
- ・ ■■■ : 返答なし 別候補を検討した方が良い
- ・ Fledge (中百舌鳥のプログラム) 特認教授 : 相談に乗るとのこと

■ 地域リハ学コースで作成したコンテンツの著作権

◎ 作成者に帰属する

- ・ コアプロ以外の用途 (授業用、営利目的) で使用することについて確認する (担当 : 高畑→教育推進課へ)
- ・ ■■■大は初年次に IT リテラシーの授業を全て行う⇒シラバスの参考にする?

2. 樋口事業統括リーダーより

■ 事務員雇用

- ・ 3 人目の事務員確定 5/1 採用 事務分担は追々検討する

■ 地域リハ学コース

◎ 講義撮影スケジュール

- ・ 現在、撮影希望日を曜日で伺い中
- ・ スクーリング時に立ち会う教員を検討する必要あり

◎ 撮影委託業者 (シャープビジネスソリューション) との撮影協議

- ・ 撮影当日は、コアプロ事務局員が 1 人立ち会う (派遣先へも初回は基本的に同行)
- ・ 外部講師とのつなぎとして、本学の人間がいた方が良い
- ・ いかに教員が事前連絡で準備できるかが重要
- ・ 60 分間の講義を通して撮影する (カットや言い間違いの修正は後で行う)
- ・ AP の講義撮影では、事前学習用に時間を 10~20 分に凝縮しているため、言葉の選択やどのパワーポイントを使用するかで難航している

■ 外部評価委員会

- ・ 欠席 2 名の委員の評価手続きについて、総務に問い合わせる

次回会議日程 : 2015 年 4 月 23 日 (木) 9:30~ 場 所 : D508

資料 7

■ コアプロ 事業企画調整会議

■ 平成 27 年度 第 3 回議事録

日 時 : 2015 年 4 月 23 日 (木) 9:30-10:30
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 高畑、樋口、淵岡、牛嶋 (記録)
欠席者(敬称略) : 西川 (智)
議 題 : 進捗状況報告、外部評価委員会進行予定検討

【 報 告 事 項 】

1. 高畑研究科長より

- ・西川 (智) 事業統括副リーダーが本日～病休に入る
- ・Fledge の講義 DVD を借りたので、複製して返却する
→企業のワークショップなどを打診しては？
- ・外部講師依頼は、奥田学域長にも分担依頼をする

2. 樋口事業統括リーダーより

■地域リハ学コース講師依頼状況

- ・ XXXXXXXXXX ×
- ・メンタルヘルス 学内教員に打診 (総リハ 西川 (隆)、稲富)

■地域リハ学コース開設記念講演

【講師】ナラティブホーム 佐藤伸彦先生

【日時】10 月 2 日 (金) 3 コマ (12:55～14:25)

【場所】羽曳野キャンパス 講堂

【対象】受講生はほぼ必須で出席 学内は、看護学類を含め全てオープンの予定

- ・受講生には、iPad 配布および操作説明を同日に行いたい
- ・教務委員会に回し、授業関係と早めに調整する

【 審 議 事 項 】

1. 外部評価委員会 (4 月 25 日) の進行予定

- (1) 高畑研究科長から挨拶
- (2) 事業全体概要説明
- (3) 部会毎に 5 セッションに分け、評価票に沿って説明 (当該資料と報告書を用意)
- (4) 評価終了後、学内者のみ残り、地域リハ学コース学内講師の打ち合わせ

2. 本年度の課題

- ・地域リハ学コース受講生の募集 (20 人)
- ・H201、H203 実習室の改修工事 (8、9 月)

次 回 会 議 日 程 : 2015 年 4 月 30 日 (木) 9:30～10:00
2015 年 5 月 7 日 (木) は定例会なし

場 所 : D508

資料 8

■ コアプロ 事業企画調整会議

■ 平成 27 年度 第 4 回議事録

日 時 : 2015 年 4 月 30 日 (木) 9:40-10:25
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 高畑、樋口、淵岡、牛嶋 (記録)
欠席者(敬称略) : 西川 (智)
議 題 : 各部会進捗状況報告、今後の作業内容検討

【 審 議 事 項 】

1. 地域リハ学コース

■ 講師調整

・学内：内容を詰める（本会議委員より大枠を提供） ・学外：担当教員が調整中

■ 撮影関連

・シャープビジネスソリューションからの契約書のドラフト版が届いたところ
・撮影室 (D503) の整備→フィジコはそのまま仮置き 長机と椅子の整備が必要
・D 棟 2 階 AP のスタジオの隣は OT のゼミ室になる

■ 基調講演 (2015 年 10 月 2 日 (金) 3 コマ)

・学生 G 教務の西辻総括に話をしておく (樋口)
・ポスターを早めに作成 セミナー+受講生への説明会
・駐車場の確保が必要 ・一般の聴講はない予定 ・委員会報告で報告する

■ 受講生募集

・学生 G および原田総務 G 長に要問い合わせ

2. 学士教育プログラム

■ 学生の評価

・4 回生から評価を実施する (授業自体への効果、受講してどう変わったか)
・OT 実習 4/30~6/12、6/22~8/4 オープンキャンパス前に取る？

■ 実習室 (H201、H203) の改修

・最低限必要な物を打合せにより決定 (4/30 15:00~L305 水治療室図面参照、予算額 550 万円)

3. 外部評価委員会

・外部評価結果が全て揃い次第、PDF または紙媒体で学内委員に配布
・平成 27 年度の外部評価委員会は、平成 28 年度初めに行う

4. 学習支援環境

・地域リハ学コースのデモ講義のため貸出中の iPad 返却：~5 月末
・デジタルディスカッションをマナボウで行う予定

5. 事業統括部会

・報告のみであれば、教授会での報告に代える予定

次 回 会 議 日 程 : 2015 年 5 月 14 日 (木) 9:15~9:45 場 所 : D508

資料 9

■ コアプロ 事業企画調整会議

■ 平成 27 年度 第 5 回議事録

日 時 : 2015 年 5 月 14 日 (木) 9:30-10:15
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 高畑、淵岡、樋口、椿、牛嶋 (記録)
欠席者(敬称略) : 西川 (智)
議 題 : 各部会進捗報告および課題点

【 審 議 事 項 】

1. 地域リハ学コース

■ 講義コンテンツ

- ・撮影委託について、現在、総務 G 会計にて仕様書等を作成中
- ・最初の撮影は 5 月 20 日 (担当教員: 樋口)
- ・撮影時間の調整⇒担当教員へ現状確認
- ・謝金の設定⇒担当: 樋口

■ 受講生募集

- ・手続きについて、羽曳野 C 事務所に問い合わせ中
- ・ホームページ上で募集要項をダウンロードできるよう準備 (事前に HP 上で予告する)
- ・エントリーシートのようなものを受講生に提出してもらう
- ・10 月 2 日に開講式を行う

2. 学習支援環境

■ 地域リハ学コース

- ・受講視聴については、ほぼ完了
- ・講師と受講生間の SNS は、学内システム (LMS のフォーラム) を利用可
⇒講師も使用可能だが、基本的に受講生同士の議論の過程を見るという使用方法にする予定
- ・受講生からの講義内容以外の問い合わせ対応、管理方法を検討する

3. 実践評価部会

■ 外部評価委員会 (4 月 25 日実施済)

- ・実践評価部会を開催し、まとめ作業を行う
- ・結果については、コアプロ 27 年度報告書に記載、資料添付する

■ 地域リハ学コースの評価

- ・受講生の評価指標⇒準備が必要
- ・単元毎の成績評価⇒8 講座に責任者をつけ、レポートを課し、受講生同士が評価を行うピアレビューを実施 (ピアレビュー後に責任者がチェックする)

■ 学士教育プログラムの評価

- ・授業アンケートの実施
- ・評価は 3 年程度かけて柔軟に構築する

4. 学士教育プログラム

■ 実習室準備

- ・レイアウト未見積

- ・非常勤講師との調整⇒購入済品について、どの物品（備品）をどのように使用するか確認
- ・追加購入品については、今年度前期に購入する
- ・本日、山下講師来学

■動画コンテンツ整理

- ・作成済動画をサーバーに置いておけば、学生が PC で視聴可能になる

5. 大阪モデル検討部会

- ・市町村における ICT 義務化の情報収集⇒本年度に実施予定
- ・導入法人への視察⇒本年度に実施予定

【 報 告 事 項 】

1. 事務局より

■10月2日 基調講演について

名称：「スタートアップ・セミナー」に決定

佐藤先生との連絡調整：担当教員（稲富）に早急に相談

学内周知ポスター：中百舌鳥に送付する

■コアプロ共有フォルダ

- ・理学専攻、作業専攻の教員に作成したこと及びアドレスを周知

次回会議日程： 5月21日（木）9:30～ 場所： D508

資料 10

■ コアプロ 事業企画調整会議

■ 平成 27 年度 第 6 回議事録

日 時 : 2015 年 5 月 21 日 (木) 9:30-10:30
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 高畑、淵岡、樋口、椿、牛嶋 (記録)
欠席者(敬称略) : 西川 (智)
議 題 : 地域リハ学コース講義撮影、募集要項、スタートアップ・セミナーについて

【 審 議 事 項 】

1. 地域リハ学コース

■ 講義デモ動画

- ・ 5 月 20 日に、樋口をモデルとし 5 分程度の動画を撮影済
⇒ 近日中にマナボウにのせる (担当: シャープビジネスソリューション)
- ・ 講義撮影方法は 3 パターン ①BIG PAD 使用 ② 画面分割 ③ ホワイトボードシート
- ・ マイクは、ハンドマイクもしくはスタンドマイクが音質が良いことが判明
- ・ プロジェクタからの資料は撮影が困難

■ 著作権

- ・ コアプロ用 e-learning 著作権資料を作成する

■ 講師撮影日程調整

- ・ 関川、近藤 (中百舌鳥教員): 次週、直接面談のうえ相談 (担当: 高畑)

■ 撮影室整備

- ・ コアプロ撮影室 (D503) の不要机、椅子⇒D407 に移動、D407 の綺麗な椅子と一部入替

■ 学外講師謝金

- ・ 検討課題
①撮影回数による変動 ②シナリオ作成時間の考慮 ③次年度以降に使用する場合の発生有無
⇒特に③について、一度作成したコンテンツを 3 年程度変更なしで使用する場合、毎年謝金の支払いが生じるかどうかを総務 G 長に問い合わせる (ルールを策定し、公開する)

■ 募集要項

- ・ 学内で登録学生と同じ扱いにするには? ⇒教務総括に問い合わせ中
- ・ 受講申請時に記載および提出してもらう事項: 学歴、職歴、国家資格免許の写し
- ・ 案を全学的にあげて、不備がないかの確認を取る
- ・ 教務システムにのせる

■ スタートアップ・セミナー

- ・ ポスターへの佐藤先生の写真の使用許可伺いを行う (担当: 牛嶋)
- ・ 部数: 大 12 部 (中百舌鳥支援室へ)、小 10~20 部 (理事等へ)、特大 2~3 部 (当日掲示用、印刷担当: 淵岡)

次回会議日程 : 5 月 28 日 (木) 9:30~ 場 所 : D508

資料 11

■ コアプロ 事業企画調整会議

■ 平成 27 年度 第 7 回議事録

日 時 : 2015 年 5 月 28 日 (木) 17:15-19:05
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 高畑、淵岡、樋口、蕨野、牛嶋 (記録)
欠席者(敬称略) : 西川 (智)
議 題 : 地域リハ学コースにおける各種検討

【 審 議 事 項 】

1. 地域リハ学コース

■ 履修証明制度の還付金制度

- ・文科省が設定していて、活用できるなら自己収入になる可能性あり
- ・厚労省指定の教育訓練給付金制度→個人に給付のため、本コースは適用外

■ 受講料

- ・会計、教務からの問い合わせに関して、受講料算出根拠表を会計総括、教務総括に送付する

■ 募集要項

- ・7月に完成させる→教育推進課長との協議、部局長連絡会での報告が必須
※規程に準ずるものが必要かどうかは、教育推進課長に相談

■ 講師依頼

- ・所属長への承諾文書が必要かどうか、各講師へ確認する (必要な場合のみ用意する)

■ 評価

- ・ピアレビューを採用予定

2. 学習支援環境

■ e-learning 講義の視聴確認

- ・manabaux で行う (受講生本人がチェックボタンを押すなど)

■ ディスカッションフォーラム

- ・下記 2 方法について、学習支援環境検討部会で 5/28 試行、検討予定
①学内の授業支援システム
②学外無料サービス chatwork

次回会議日程 : 6月11日(木) 9:30～ 場所 : D508

資料 12

■ コアプロ 事業企画調整会議

■ 平成 27 年度 第 8 回議事録

日 時 : 2015 年 6 月 11 日 (木) 9:35-10:40
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 高畑、淵岡、樋口、椿、牛嶋 (記録)
欠席者(敬称略) : 西川 (智)
議 題 : 各種検討および報告

【 審 議 事 項 】

1. 地域リハ学コース

■スタートアップ・セミナー：部局長連絡会において、周知済み

■講師依頼調整（研究科長担当分）

<学内・中百舌鳥 C>

- ・講義「セキュリティの基本」：PT・OTに関連する内容を希望
- ・講座「社会資源の活用」：シラバスのような全体像を作成し、講師へ提示制度の理論および背景、日本国内の施策の変遷に関する内容を希望
- ・Fledge 講師：組織内の問題発見・解決（e-learning）＋演習（グループワーク）を依頼
- ・講義「メンタルヘルスについて」：コモنز TA→学生 G・東妻に確認（担当：樋口）

<学内・羽曳野 C 総リハ>

- ・講義「口腔機能の加齢変化」：栄養療法学専攻 高橋准教授に打診
- ・講義「在宅看護における～」：奥田学域長から打診
- ・保健師の視点からの講義：直接依頼（担当：樋口）

■著作権：著作権ダイジェスト版資料を講師に配布（学内教員には事前説明を行う）

2. 学長への要望

- ・補助事業終了後の講師への謝金支出に関する検討他、何項目か出してまとめる

【 報 告 事 項 】

1. 文科省訪問報告

- ・セラピストに対する補助事業が初めてのため、取組が円滑に進んでいるかの確認
- ・年度が進むにつれて予算は段階的に削減されるような感触

2. PT 学会シンポジウムおよび企業展示会出展報告

- ・PT 学会におけるシンポジウムで、コアプロについて広報（6 月 5 日）
- ・企業展示会にコアプロブースを出展、約 150 名の訪問（6 月 5～7 日）

3. 実習室の改修

- ・見積の調整完了、手続きに入る⇒オープンキャンパス（8 月 8～9 日）明けに着工予定

4. iPad 返却状況：2 施設未返却のため、再連絡する

5. 27 年度交付申請書：6 月 18 日提出期限（郵送必着、メールにて電子データも）

次 回 会 議 日 程 : 6 月 18 日 (木) 9:30～ 場 所 : D508

資料 13

■ コアプロ 事業企画調整会議

■ 平成 27 年度 第 9 回議事録

日 時 : 2015 年 6 月 18 日 (木) 9:30-11:25
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 高畑、淵岡、樋口、椿、牛嶋 (記録)
議 題 : 地域リハ学コース募集要項案検討
資 料 : 1. 募集要項 (案)

【 審 議 事 項 】

1. 地域リハ学コース

(1) 募集要項案

- ・目立つ情報を前に記載 ・合否の連絡は郵送とともにメールでも行う (担当: 事務局)
- ・受講申請書は簡易書留で受け付ける (総務 G が手続き上可能であれば)
- ・6 月 26 日 (金) 14 時 35 分～教育推進課の大久保課長と協議の上、詳細を決定する

■ 応募資格

- ・PT もしくは OT の国家資格を持ち、次の両方あるいはいずれかの条件を満たしている者
①学士課程卒 ②PT もしくは OT の国家資格を取得後、3 年以上の実務経験を有する

■ 学歴・職歴欄

- ・養成課程についての記入を必須とする
- ・養成課程の年数の記入方法⇒3 年制・4 年制を選択性にする等、本学研究科の受験資格と同等の資格があるか判別できるようにする

(2) 著作権

- ・著作権研修会: AP では予算を計上していないため、合同開催は不可
⇒6 月 26 日に教育推進課長に相談する
- ・撮影時に講師からの持ち込み動画がある場合
⇒①著作権に配慮いただくこと ②音声は収録できないこと を伝える
- ・学内教員参照用に、コアプロ共有フォルダに著作権ガイドラインファイルを置く

(3) スタートアップ・セミナー

- ・中百舌鳥キャンパス (学長、副学長、理事等) に遠隔同時中継したい
⇒講演者の佐藤先生に了承を得る (担当: 事務局)
- ・学内配布ポスターの準備 (羽曳野 C の全教員および院生)

(4) 講師調整、動画配信

- ・中百舌鳥教員の講師内諾については、調整にもう少々時間がかかる見込み
- ・講師への同意書を作成する (①配信の同意 ②次年度以降の謝礼 について署名いただく)
⇒撮影当日、学内担当者または撮影委託業者が持参 (講師用、本学控えの計 2 枚)
- ・撮影動画データ確認には、web ストレージの利用を検討 (期間を設けて視聴)
⇒撮影委託業者に確認 (担当: 樋口)

次 回 会 議 日 程 : 6 月 25 日 (木) 9:30～ 場 所 : D508
課 題 : 6 月 26 日 (金) の教育推進課長との協議までに、募集要項案の修正・学内手続きの整理を行う。

資料 14

■ コアプロ 事業企画調整会議

■ 平成 27 年度 第 10 回議事録

日 時 : 2015 年 6 月 25 日 (木) 16:48-17:50
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 高畑、淵岡、樋口、蕨野、牛嶋
議 題 : 地域リハ学コースの開講準備について
資 料 : 1. 課題解決型高度医療人材養成プログラムに関するご連絡事項および同意確認書

【 審 議 事 項 】

1. 地域リハ学コース

(1) 学長への報告

- ・フォーマットは自由 (原田総務グループ長作成のフォーマットを使用)
⇒6 月 26 日の教育推進課大久保課長との会議にて詳細検討する)

(2) 受講生管理

- ・受講者一覧は教務システムでは扱わず、Excel で管理する
- ・授業支援システムは使用可能 (6 月 26 日の教育推進課大久保課長との会議にて確認する)
- ・メールアドレスは新規作成可能

(3) 受講端末

- ・1 期生は全員 iPad のみとする
- ・2 期生以降、PC でも受講可能とするか検討を行う

(4) 開講までの流れ

- ・10 月 2 日の開講式に間に合うように、逆算してスケジュールを立てる

(5) 動画コンテンツ同意書

- ・作成する動画コンテンツの取扱いについて、同意書 (資料 1) を作成
⇒事務局で修正を加え、29 日 (月) に樋口へ提出、再確認
- ・講師への説明は、本学担当者 (仲介教員、事務局員) が行う
- ・次年度以降の説明は、口頭で行う

次回会議日程 : 7 月 2 日 (木) 11:00~ 場 所 : D508

伝 達 事 項 : 今回より、定例会の開催時間が毎木曜 11:00 からに変更になった。

資料 15

■ コアプロ 事業企画調整会議

■ 平成 27 年度 第 11 回議事録

日 時 : 2015 年 7 月 2 日 (木) 11:15-12:35
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 高畑、淵岡、樋口、椿、牛嶋 (記録)
議 題 : 地域リハ学コース募集に向けての準備状況確認、作業検討
資 料 : 1. 地域リハビリテーション学コース募集要項 (案)

【 審 議 事 項 】

1. 地域リハ学コース

(1) 募集要項 (案)

- ・地域リハ学コース検討部会における指摘点の報告、確認
- ・追加修正を行い、再度本会議の委員において確認後、募集要項のみ先に事務起案を行う (7 月 8 日までに) ⇒学長への届出は別途提出
- ・学長には、高畑研究科長から 7 月 8 日のヒアリング時に説明を行う
- ・募集開始時に、府大ホームページの新着情報で周知 (カテゴリが何になるか広報課に確認)
- ・プレスリリースを行うかは要検討

(2) 学長への届出

- ・事務所長から、10 日の役員連絡会で提出
- ・7 月 8 日の学長ヒアリング時に、本件についても説明を行う

(3) 開講式、スタートアップ・セミナー

- ・同日に行う事務手続きについて、教務および原田学生 G 長と相談 (担当: 樋口)
⇒手続きのボリュームにより時間帯を検討する (iPad の説明・配布込み)

(4) 講義撮影

- ・室外の騒音: 撮影には支障ない程度だが、講師本人が気にするケースあり
⇒対応策として、D 棟 3 階入口廊下に PT 専攻より借りた立て看板を設置する
(※「撮影中」「お静かに」「撮影時間」「撮影講師名」を記入)

(5) 評価

■成績の評価方法

- ・ピアレビュー (点数で) ・視聴済みかの確認は、マナボウで判別する (出席判定)
- ・出席+レポート+評価の 3 点で総合評価を行う?

■プログラムの評価

- ①事業に対する評価 (プログラムに不足があるか) ②受講生自身の評価 (意識や興味の変化)

【 報 告 事 項 】

1. オープンキャンパスでの広報 (8 月 8・9 日、羽曳野)

- ・コアプロのパンフレット配布を行う (部数については入試委員と要相談)

次回会議日程 : 7 月 9 日 (木) 11:00~ 場 所 : D508

資料 16

■ コアプロ 事業企画調整会議

■ 平成 27 年度 第 12 回議事録

日 時 : 2015 年 7 月 9 日 (木) 11:05-12:30
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 高畑、淵岡、樋口、椿、牛嶋 (記録)
議 題 : 地域リハ学コース
資 料 : 1. 地域リハ学コース募集要項 (案)
2. 府大ホームページ掲載地域リハ学コース募集ページ (案)

【 審 議 事 項 】

1. 地域リハ学コース

(1) 募集要項 (案)

- ・羽曳野事務所から指摘のあった事項について微修正
- ・コアプロホームページへの追加
 - ①独立「募集要項」ページ、②Topics、③受講生募集中バナー
 - *28 年度春期生の募集については、コアプロホームページに掲載する
 - *受講申請書のみ Word で別紙扱い
- ・案の修正後、コアプロ ML で報告
- ・府大ホームページへの掲載
広報課へ下記ページからコアプロホームページ内募集要項ページへのリンクを依頼する
 - ①新着ニュース、②生涯学習一履修証明プログラム (新規開設予定ページ)
 - *詳細は書かず、最低限の情報のみ掲載する

(2) 学長への届出

- ・その他学長が必要と認める事項→項目だけ残し、空欄とする
- ・届出と募集要項をまとめて学長へ提出する (担当: 高畑)

(3) 著作権資料

- ・著作権関係業者へ連絡→講師配布用著作権ダイジェスト資料をコアプロ版として再作成
- *著作権ガイドブックは講師へ配布せず、事務局において保管

2. オープンキャンパス広報

配布 ①パンフレット、②報告書

掲示 ①布ポスター→PT 学会で使用したもの、学士教育プログラム ver.を追加作成 (担当: 淵岡)

*パンフレットの増刷費用負担部署は未定

次回会議日程 : 7 月 16 日 (木) 11:00~

場所 : D508

資料 17

■ コアプロ 事業企画調整会議

■ 平成 27 年度 第 13 回議事録

日 時 : 2015 年 7 月 15 日 (水) 12:33-12:55
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 高畑、淵岡、樋口、牛嶋 (記録)
議 題 : 地域リハ学コース各種報告、検討

【 報 告 事 項 】

■ 地域リハ学コースに対する学内全体会議での決定事項

(1) 授業支援システムについて

- ・利用不可との決定がなされた。
⇒類似システムがあるため、利用可能か船野課長が調査するとのこと

(2) 受講料について

- ・理事らより、安価ではとの指摘があった。
⇒補助事業終了後に上げることを伝え、了承を得た。

(3) 図書館サービスについて

- ・図書館長に、将来的に利用可能な方向で図書委員会で検討してもらいたいと伝えた。
- ・羽曳野図書センターは利用できる方向で内部調整を行い、図書委員会で報告する。

【 審 議 事 項 】

■ 地域リハ学コース講師依頼状況

- ・山 中 講 師 : 内容について詳細を詰めたところ
⇒地域の現場に PT・OT が出てこない問題、ソーシャルアクション (制度のつくり方)、アメリカの方法の紹介 など
*3 コマ中 1 コマはスクーリングでも良い
- ・関 川 講 師 : 奥田学域長より連絡済み、樋口より改めて電話連絡する
- ・Fledge 講 師 : 詳細内容を詰める必要あり
- ・田 垣 講 師 : 再度打診を行う
⇒内容) リハ職がタッチしていない、非常に軽度な方を対象とした障害者支援

次回会議日程 : 7 月 23 日 (木) 11:00~

場所 : D508

■ コアプロ 事業企画調整会議

■ 平成 27 年度 第 14 回議事録

日 時 : 2015 年 7 月 23 日 (木) 16:55-17:40
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 高畑、淵岡、樋口、日垣、蕨野 (記録)
議 題 : 学士教育プログラム進捗状況確認、地域リハ学コース現状報告 (10 月 2 日のスタートアップ・セミナー内容変更確認、受講生についてなど)

【 審 議 事 項 】

1. 学士教育プログラム

(1) 決定事項

- ・ 授業 : 【1】 2015 年 10 月 26 日 (月) 9 時 45 分～12 時 10 分
小林貴代先生「拘視予防とリスクマネジメント」
- 【2】 2015 年 11 月 9 日 (月) 9 時 45 分～12 時 10 分
小林貴代先生「呼吸障害と活動の容易さを目指したポジショニング」
- 【3】 2015 年 11 月 16 日 (月) 9 時 45 分～12 時 10 分
山下協子先生「家族介護者への健康支援」
- 【4】 2015 年 11 月 16 日 (月) 9 時 45 分～12 時 10 分
山下協子先生「家族介護者への健康支援」
- 【5】 2015 年 12 月 7 日 (月) 9 時 45 分～12 時 10 分
藤堂恵美子先生「接遇とリスクマネジメント」

- ・ H 棟改修前の物品移動 : 8 月 9 日のオープンキャンパス終了後 PT・OT3 回生が手伝う。
それ以前に移動させる物品などの準備は事務局で行う。
(7 月 27 日に OT 教員が物品確認する予定)
捨てる物品が粗大ゴミであれば総務 G 会計の大瀬に連絡する。

- ・ H 棟改修後の物品移動 : 購入物品の納品は 9 月 28 日の予定。
レンタル物品は 11 月 13 日～12 月 15 日の予定。
G 棟 (評価室・義肢装具室)、H 棟 (理 III 室) からはベッド、ホイス
ト、マットレスの移動を行う。(日程は未定)

- ・ 動画コンテンツ再録 : 2015 年 8 月 10 日 (月) 14 時～IMD 佐々木氏と打ち合わせ
2015 年 8 月 31 日 (月) 11 時～準備 PM～山下先生再録
動画修正が終了しマナボウへの公開準備ができたなら高畑研究科長へ報
告。

(2) 検討中の課題

- ・ 評価方法 : 進捗状況は下記の通り。
『GSES 質問紙』と『S-H 式レジリエンス検査』の評価用紙を参考にするため購入したが、評価に使用するかは現段階では検討中。
現在、外部講師に講義のテーマに関する行動目標を挙げてもらうよう依頼中。
行動目標を元に、学プロ検討部会で評価用紙を作成する。
学習効果を見るために、講義前後で学生が自己評価を行う。
講師からの評価はレポートなどにする予定。
外部評価委員で出た意見を反映させた評価方法を考える必要がある。(受講する学

生の受講前後での個人間比較評価と、受講する学生と受講しない学生の集団間比較評価を取り入れるなど。)

2. 地域リハ学コース

(1) スタートアップ・セミナーの変更点について

10月2日(金)に予定されているスタートアップ・セミナーに文部科学省から高等教育局 医学教育課 医療技術係長 吉光沙綾子氏が出席して下さることになった。これに伴いスケジュールの変更あり。

13:00～ 開会挨拶 大阪府立大学理事長・学長 辻洋

13:05～ 講演1「課題解決型プログラムの意義とコメディカル教育に期待するところ」

文部科学省 高等教育局 医学教育課 医療技術係長 吉光沙綾子氏

13:25～ 講演2「終末期医療をささえる地域包括ケアのしかけ～人生を物語としてとらえる
ナラティブアプローチ～」

医療法人社団ナラティブホーム理事長 ものがたり診療所所長 佐藤伸彦先生

- ・PT・OTの学生は出席できるように授業の調整を行う。
- ・受講生には12時55分～開始(12時45分までに着席)と案内の連絡をする。
- ・修正版ポスターの送付方法は次回の定例会で決定する。

(2) 受講生について

- ・受講申請者(メール連絡)16名

書類受理13名(うち2名書類不備)17日と23日に再送依頼済。(7月23日現在)

- ・募集要項案内の起案を回した際に、理学療法士協会やマスコミにもPRの幅を広げてみてはと山田総務総括からアドバイスがあった。
- ・次回の定例会までに定員20名を越えそうなので、次回の定例会時に第1期(平成27年度秋期)受講生の審査を行う。
- ・8月1週目に受講生に決定書類などを配送、不採用者に不採用通知を送付できるように事務所で準備する。(発送に必要な書類は次回定例会で決定する。)

(3) 今後の予定について

- ・下記の予定で遠方から来客あり。

8月11日 長崎大学から2名

10月 福岡県大牟田市から梅本先生(日程未定)

次回会議日程 : 7月30日(木) 11:00～ 場所 : D508

資料 19

■ コアプロ 事業企画調整会議

■ 平成 27 年度 第 15 回議事録

日 時 : 2015 年 7 月 30 日 (木) 10:45-12:10
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 高畑、淵岡、樋口、椿、牛嶋 (記録)
11:00-11:25 のみ 原田総務 G 長、坂東会計総括
議 題 : 各種報告及び地域リハ学コースについての検討
資 料 : 1. 履修証明プログラム受講生関連事務スケジュール (案)
2. iPad を紛失・破損した場合、iPad が故障した場合の対応について

【 報 告 事 項 】

1. 広報関連

- ・府大ホームページへの地域リハ学コース案内の掲載⇒広報課が窓口、地域連携室が調整

2. 実習室について

- ・ADL 室及び水治療法室で保管していた物品に、購入後数ヶ月でカビが付着している
⇒スリングや枕等、今後多数の布製品を搬入するため、湿気対策の検討が必要

【 審 議 事 項 】

■地域リハ学コース関連

(1) 受講者の内定方法

- ・「受講者選考委員会」を 8 月 7 日 (金) 14 時～総リハ学部長室にて行う
- ・選考方法は、条件を満たしている中での先着順 *委員は、事業統括部会の委員

(2) 受講開始までの受講者関係事務手続きについて (資料 1)

- ・受講料の納付書作成のため、事務局にて受講者名簿を作成
⇒学籍番号付与のため、学生課に送付
- ・受講内定者に写真送付依頼 *用途を明記する (用途については、原田 G 長が確認)
- ・受講料納付確認後、受講者の写真及び学籍番号を欄外 (右下辺り、手書き) に追記した受講申請書の写しを書留逡送便にて学生課に送付
- ・学生証という名称は誤解を生む可能性があるため、「受講生証」もしくは「受講者証」とする
- ・図書館の利用については触れない (府内在住者については閲覧・複写は可、貸し出しは不可)
- ・7 月 30 日現在、申請者数は 45 人⇒次年度以降、タブレット端末を買い足すか否か要検討
- ・今回は、受講料の未納者が出ても追加合格は行わない
- ・納付書を受講者へ郵送する際の同封物⇒受講許可通知、10 月 2 日のセミナー案内 (タイムスケジュール及び当日配布物を記載、事務局にて下案を作成)、スクーリングについての案内

(3) スタートアップ・セミナーについて

- ・ポスターを文部科学省の吉光氏の講演を追記した修正板に差し替えて配布、配信する
- ・理学専攻及び作業専攻の学生 1~4 回生に聴講させる⇒高畑、樋口が調整
- ・セミナー後の地域リハ学コース受講者ガイダンス時に、iPad 貸与規程を配布する

(4) 受講者のフォーラムサービス利用について

- ・受講者同士のディスカッション用として使用し、原則として講師からの返答は行わない

次 回 会 議 日 程 : 8 月 20 日 (木) 11:00~ 場 所 : D508

資料 20

■ コアプロ 事業企画調整会議

■ 平成 27 年度 第 16 回議事録

日 時 : 2015 年 8 月 20 日 (木) 11:00-12:00
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 淵岡、樋口、蕨野、椿、牛嶋 (記録)
議 題 : 地域リハ学コース講義撮影、受講者連絡、受講環境についての検討

【 報 告 事 項 】

■ 地域リハ学コース関連

(1) 講義撮影進捗

- ・撮影の進捗状況について確認、現段階で 5 割程度終了

(2) 地域リハ学コース受講内定者への連絡状況

- ・案内一式及び受講料納付書を 8 月 20 日 (木) 付けで発送済
*学内での受講者データの遣り取りは、パスワードとファイル 2 段階のメールで実施
- ・受講者証用の写真をメールにて送付依頼済
- ・受講内定者以外の申請者には、第 2 期及び第 3 期の募集について案内済

(3) 地域リハ学コース受講環境関連

- ・通信設定のため、業者に送付 (9 月)
- ・講義視聴管理システム (manabaux)、講義情報共有フォーラム (サイボウズ Live) の試行中
- ・受講者と同環境で講義動画の視聴確認を行う

【 審 議 事 項 】

■ 地域リハ学コース関連

(1) 受講者定員増について

- ・1 期生 25 人、端末保有数 50 台のため、2 期生の定員は 25 人
- ・定員を増やす場合は、通信費についての課題を早急にクリアする必要あり
*1 人当たりの通信費 : $1,700 \text{ 円} / \text{月} \times 12 \text{ ヶ月} = 20,400 \text{ 円} / \text{年}$
- ・通信費を抑えるため、端末を任意のレンタル等として一部差別化してはどうか
⇒案 1) 実習施設にアドバンテージをつける
⇒案 2) 端末を追加購入する

*iPad mini (3 万円/台) で補填すると、端末代+通信費で経費 50,400 円/人

◎第 2 期は第 1 期を踏襲し、第 3 期以降は学外、卒業生、実習施設での区別を検討する

(2) H28 年度スクーリングについて

- ・第 2 期生には、受講開始時にガイダンスのみ行う (講演は別日程で調整)
- ・9 月の最終スクーリング時に、iPad の返却及び修了式を行う (修了証もこの日に渡す)

(3) 講義資料について

- ・e-learning 講義において資料を使用する講師がいる場合、ダウンロード可能にするかどうかの検討が必要

次回会議日程 : 8 月 27 日 (木) は無し

資料 21

■ コアプロ 事業企画調整会議

■ 平成 27 年度 第 17 回議事録

日 時 : 2015 年 9 月 3 日 (木) 14:00-16:00
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 高畑、淵岡、樋口、蕨野、椿、牛嶋 (記録)
議 題 : 1. 地域リハ学コース講師依頼状況について
2. 地域リハ学コース講義配信システムについて
3. 地域リハ学コーススクーリングについて
4. 地域リハ学コース第 2 期生の公募について
5. 地域リハ学コース教育訓練給付制度について
6. 広報活動について

【 報 告 事 項 】

■ 地域リハ学コース関連

(1) 講師依頼状況について

・ 演習「組織内の問題点評価、整理、解決策」

⇒平成 28 年 2 月 27 日 (土) 13 時～3 時間

5 人 1 組のグループ演習を希望 *予め職場内の問題点を挙げておく？

担当の広瀬講師と詳細内容を詰める (担当: 高畑)

案) リーダーシップ論、プロジェクトプランニング、上司の説得論、企業内起業

【 審 議 事 項 】

■ 地域リハ学コース関連

(1) 講義配信システム (manabaux) について

・ 講義名等の表記方法の確認

・ 講師所属の記載について、学内教員は、「大阪府立大学大学院～研究科」で統一する

・ 講義動画の個々の再生時間は記載せず、1 コマ 60 分の旨を manabaux 又は受講者ガイダンス時の配布資料で案内する

(2) スクーリング (演習) について

・ スクーリング日までに視聴しておく講義についての説明をあらかじめ行う

・ スタートアップ・セミナー講演の来期以降の扱いをどうするか、今後検討する

・ 受講者の来校回数は、奇数期生は 3 回、偶数期生は 4 回となる

【1 回目】 H27 年 10 月 2 日 (金) 会場: 羽曳野キャンパス L 棟講堂

○ スタートアップ・セミナー、第 1 期生ガイダンス

*ガイダンス場所: K401 (3～5 コマ予約済)

【2 回目】 H28 年 4 月 11 日の週

○ 第 2 期生ガイダンス

*4 月 1 日～ 第 2 期生用 iPad の APN 設定を行う (所要期間: 4 営業日程度)

【3 回目】 候補: H28 年 9 月 24 日 (土) 会場: I-site なんば (60 人程度収容可能な部屋)

○ 第 1 期生 (2 回目)・第 2 期生 (1 回目) 合同スクーリング

○ 第 1 期生終講式 (iPad 回収、履修証明書授与)

【4回目】H28年10月初旬

○講座「在宅医療・終末期医療」講演 会場：I-site なんば予定

(3) 第2期生の公募について

- ・H27年12月（公募1ヶ月前） 広報課に連絡
- ・H28年1月～ 公募開始（予定）

(4) 教育訓練給付制度について

- ・本コースが対象となるか、厚労省の認可取得方法等を調査する（担当：椿）
*制度を利用可能な場合、29年4月（4期生）～対象となれるよう準備を進める

■広報関連

- ・11月に関西で開催されるPT、OT各学会でのプロジェクト広報活動を検討
⇒学会窓口に問い合わせる（担当：PT 淵岡、OT 蕨野）
*広報活動可能な場合、パンフレット及び26年度報告書を配布する

次回会議日程 : 9月10日（木）11:00～ 場所 : D508

資料 22

■ コアプロ 企画調整会議

■ 平成 27 年度 第 18 回議事録

- 日 時 : 2015 年 9 月 10 日 (木) 11:00-12:20
- 場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
- 出席者(敬称略) : 高畑、樋口、淵岡、片岡、牛嶋、椿、蕨野 (記録)
- 議 題 : 1. 学プロの進捗状況報告
2. 学習支援環境検討部会の進捗状況報告
3. 院プロ (スクーリングや第 2 期生開講式) の日程調整
4. 給付金について確認
- 資 料 : 別添
- 決 定 事 項 : 1. 授業の成績は学内教員が学生の自己評価を見て点数をつけることとする。
2. スタートアップ・セミナー後の iPad 配布・説明は受講証配布と合わせて 1 コマ (90 分) で行う。
3. 審議の必要な点を再度まとめる。
- 確 認 事 項 : 1. 学生の評価負担が減るように評価内容を再検討する。(学プロ検討部会)
3. I-site なんばの平成 28 年 9 月 24 日 (土) の空き状況を定期的に確認する。(事務局)

【 議 事 】

1. 学プロの進捗状況報告

学プロ検討部会での評価方法などの進捗状況について、学プロ部会から報告を行った。詳細は共有フォルダの【学士教育プログラム検討部会】⇒8 月 25 日【第 5 回学士教育プログラム検討部会】議事録を参照。

1) 「在宅リハビリテーション論」の評価に求められていること

- ・授業を受ける群 (3 回生) と受けない群 (4 回生) での在宅リハへの興味・関心・理解度の比較。
- ・授業を受ける群の受講前と受講後での在宅リハに関する理解と技能の比較。
- ・最終的に全体の 7 割以上の人が理解できた状態になる。
- ・変化度ではなく到達度を評価する。

2) 問題点

- ・評価用紙も評価する回数も多すぎて学生への負担が大きい。
- ・外部講師が 1 回もしくは 2 回の授業のみで学生全体を把握し、評価することは困難。
- ・4 回生向けの評価は大きく在宅リハへの興味や理解を知りたいが、アンケートの内容が細かい内容の部分まで聞いているので応えにくいのでは。

上記の評価にもとめられていること、問題点を踏まえて以下の意見が出た。

⇒群間比較をしたいので 4 段階評価でもいいのではないか。

⇒自己評価の項目にアンケートの回答方法 (10 段階○と□で回答) を合せたら負担が減るのではないか。

⇒10 段階で回答してもらい分析の際に必要であればそれを大きく 4 段階に分けて利用すればいいのではないか。

⇒10 段階評価も、授業を今後組み立てるために講義前後の理解度の変化量を見るなどの目的に利用できるのでは。

⇒学生の回答量が減るように、大項目の中に小項目の説明をつけた上で、大項目の数だけ回答してもらうようにするのはどうか。

- ・これらの意見を学プロ検討部会に持ち帰り、再検討する。

・4 回生へのアンケート内容はもう少し広い目線での質問になるように来週再検討する。

3) 山下先生の動画に関して

・再録の編集が完了し次第、動画をアップする。

2. 学習支援環境検討部会の進捗状況報告

1) 「地域リハビリテーション学」コース e ラーニング クイック・マニュアルを受講生に配布する iPad と併せて配布する。冊子は事務所で受講生の人数分作成する。

2) iPad 配布・説明はスタートアップ・セミナー終了後に 1 コマ (90 分) で行う。その際に合せて受講証の配布も行う。

3. 院プロ (スクーリングや第 2 期生開講式) の日程調整

1) 第 1 期生 2 回目兼第 2 期生 1 回目のスクーリングは I-site なんばの使用状況の都合から現在平成 28 年 9 月 17 日 (土) を予約しているが、24 日 (土) に空きができればそちらへ変更する。空き状況は事務局で定期的にチェックすることとする。

2) 第 2 期生の開講式は入学式と同日 (4 月 6 日) に I-site なんばで行う予定。第 1 期生の開講式の様子を見て、学内でないと事務手続きなど不備があるようであれば学内で行う。

4. 給付金についての確認

申請に必要な条件など不明な部分が多いので、再度審議点をまとめ大久保係長へ確認する。

次回会議日程 : 9 月 17 日 (木) 11:00 ~ 場所 : D508

資料 23

■ コアプロ 企画調整会議

■ 平成 27 年度 第 19 回議事録

- 日 時 : 2015 年 9 月 17 日 (木) 11:00-12:20
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 高畑、樋口、淵岡、牛嶋、椿、蕨野 (記録)
議 題 : 1. 給付金について
2. パンフレット配布について
3. スタートアップ・セミナーのお知らせについて
4. H 棟改修工事について
5. 地域リハビリテーション学コース受講生へのアンケートについて
- 資 料 : 別添
決 定 事 項 : 1. Facebook で学外者へもお知らせを行う。
確 認 事 項 : 1. 給付金の審議が必要な点を再度大久保課長に問合せ等して調べる。
2. パンフレット配布が可能か学会に問い合わせる。

【 議 事 】

1. 給付金について

(1) 審議点、疑問点は以下のとおり。

- ・成績の提示・フィードバックが必要だが、何を持って評価し成績をつけるか。
- ・文科省の補助金を受けている期間であっても、厚生労働省からの教育給付金の需給は可能なのか。
- ・受講料の詳細な内訳の説明をどうするか。申請時と給付金開始時とで受講料に変更がある場合も可能なのか。変更がある場合どういう手続きを取ればよいのか。
- ・文科省の定めている職業実践力育成プログラム認定制度というものを取得すれば給付金を受けやすくなるのか。

(2) 履修証明で給付金を受けている他大学に問合せる。

参考大学：筑波大学→HP から連絡窓口を調べる。

青山学院大学→e-learning で給付金が受けられている。連絡窓口を調べる。

2. パンフレット配布について

会場に送付し、設置から廃棄までを行っていただけるか確認する。

費用がかからず手軽に行えるのであれば配布を検討する。

3. スタートアップ・セミナーのお知らせについて

現状、受講生 25 名と PT/OT の学生、教職員が聴講する予定であり、講堂の収容人数より少ないので、学外者へも Facebook で案内を行う。

4. H 棟改修について

工事は完了したと総務 G 大瀬から連絡あり。H 棟の地下で水道管が錆びて水漏れしている部分を発見したので、湿気の原因はこれではないかとのこと。

配管修理を今月末までに実施するが、9 月 28 日の購入物品の納品には影響がないとのこと。

5. 地域リハビリテーション学コース受講生へのアンケートについて

3 つめの問いの『参加』を『受講』へ変更する。その他変更点無し。

10 月 2 日開講式でアンケートを配布する。

次回会議日程：9月24日（木）11:00～ 場所：D508

議 題：10月2日（金）スタートアップ・セミナーに向けての打ち合わせ

資料 24

■ コアプロ 企画調整会議

■ 平成 27 年度 第 20 回議事録

- 日 時 : 2015 年 9 月 24 日 (木) 11:05-12:20
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 高畑、樋口、淵岡、牛嶋、椿、蕨野 (記録)
議 題 : 1. スタートアップ・セミナーについて
2. iPad 配布・説明について
決 定 事 項 : 1. 高畑 (辻学長)、樋口 (吉光氏)、稲富 (佐藤先生) が、各公演者の対応を行う。
2. 受講生、学生、学内教職員、学外者の出席を取る。
確 認 事 項 : 1. 中百舌鳥との遠隔中継の手続きがどこまで進んでいるか、山田総括に確認する。
2. 当日立て看板や受付に机を準備できるか確認する。

【 議 事 】

1. スタートアップ・セミナーについて

(1) 当日の流れ

- ・午前中に吉光氏と佐藤先生のスライドの試写、準備を行う。(10:40～の予定)
- ・辻学長の対応は高畑、吉光氏の対応は樋口、佐藤先生の対応は稲富が行う。学校に来られたら学部長室へ案内する。
- ・受講生向けに玄関から 4 階講堂へ立て看板など用いて誘導する。(事務局)
- ・4 階講堂入り口にて受講生、学生、教職員、学外者の出席確認を行う。(事務局)
- ・講演の様子を写真に取る。(事務局)
- ・講演終了後、演者の先生方は学部長室へ案内し、事務手続きを行う。(担当教員、事務局)
- ・受講生を K401 へ誘導する。(事務局)

(2) その他

- ・中百舌鳥との遠隔中継に関して、山田総括に再度確認を行う。
- ・ポスターの誤字があったので玄関に掲示しているものを差し替える。

2. iPad 配布・説明について

(1) 準備物

- ・受講証 ・ iPad ・ 説明書 ・ タブレット機器借用書 ・ アンケート用紙 ・ ボールペン
- 事前に事務局で座席に配布しておく。

(2) 説明する内容

- ・ iPad の基本操作、借用規定について ・ 受講済みのチェック方法について
- ・ スクリーニングまでに受講する必要のある授業について
- ・ 連絡方法について (通常: iPad のアドレス、緊急時: 借用書に記載してもらう個人アドレス)
- ・ 評価方法について (レポートで評価。)
→ 文字数、講義名ごとの課題、誰がレポートを評価するのは次週までに検討する。)

次回会議日程: 10 月 1 日 (木) 11:00～ 場所: D508

資料 25

■ コアプロ 企画調整会議

■ 平成 27 年度 第 21 回議事録

- 日 時 : 2015 年 10 月 1 日 (木) 11:00-12:20
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 高畑、樋口、淵岡、牛嶋、椿、蕨野 (記録)
議 題 : 1. スタートアップ・セミナーについて
2. 後期撮影について
資 料 : 別添
決 定 事 項 : 1. 当日は 10 時 40 分から準備を開始する。
2. 出席確認は総務 G 会計の堀、西川が協力。iPad の配布説明にも立ち会う。
確 認 事 項 : 1. 当日佐藤先生が来られてから書籍展示について確認する。

【 議 事 】

1. スタートアップ・セミナーについて
 - ・受付は長机を 3 脚並べて、できる限り会場外での出席者の待ち時間を減らす。
 - ・学生は人数が多くて講演開始に間に合いそうに無ければ講演終了後にチェックをつけてもらう。
 - ・午前中に 4 階講堂への案内たて看板を設置する。
 - ・講演終了後は扉を 2 つ開けて、出口付近に佐藤先生の講演資料を配置し、希望者には持ち帰っていただく。
 - ・講演終了後、受講生には学生が退場するまでしばらく待っていただき、その後 K401 へ誘導する。
2. 後期撮影について
 - ・IT 医療情報管理の候補であった [] の方は都合がつかなくなったため、新しく検討中。
 - ・在宅ケアにおける予後予測の理学療法学視点の二次障害予防について依頼している吉良先生に、スクーリングも行っていただく。

次回会議日程 : 10 月 8 日 (木) 11:00 ~ 場所 : D508

資料 26

■ コアプロ 企画調整会議

■ 平成 27 年度 第 22 回議事録

- 日 時 : 2015 年 10 月 8 日 (木) 11:00-12:20
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 高畑、樋口、淵岡、牛嶋、椿、蕨野 (記録)
議 題 : 1. スタートアップ・セミナー報告
2. 地域リハ学コース 受講状況について
3. 地域リハ学コース 成績評定について
4. 地域リハ学コース 講期撮影について
5. 地域リハ学コース スクーリング日について
6. 地域リハ学コース 補助期間終了後の展開について
7. 学士教育プログラム 現状報告
8. その他

【 議 事 】

1. スタートアップ・セミナーの報告
 - ・各担当からの報告
2. 地域リハ学コース 受講状況について
 - ・10/6 昼に容量超過で遅くなっているとの問合せがあった。
 - ・ログ分析の結果、すぐに視聴をとめて再生をやり直している受講生が数名いた。
 - ・通信設定上 1 ヶ月に 9 時間は最低見ることができるとはなはずなので、視聴以外でも通信を繋ぎっぱなしにしているか、再度受講生にメールで説明と確認を行う。
 - ・フォーラムに所属が分かったほうがいいのではという意見があったため、対応した。
→症例の話がネット上であるのと良くないので、避けていただくよう説明する。
3. 地域リハ学コース 成績評定について
 - ・レポート素案を 10 月中に固める。(地域リハ学コース部会で行う。)
 - ・ピアレビューではなく学内教員が行う。
→院生に依頼すると基準を細かく設定する必要がある。
→地域リハ学コース部会で基準を設定し、第 1 期生の受講が終了したら卒業生に依頼する案も検討する。
4. 地域リハ学コース 後期撮影について
 - ・10 月～開始。1 番目は 10 月 23 日の逢坂講師。
 - ・XXXXXXXXXXの代わりに NEC の北風様に内諾済み。(3 コマ分)
具体的な内容の調整は 11 月中に行う予定。(担当: 高畑)
パンフレットやプログラム概要が分かる資料を 10 月中に郵送する。
 - ・宮本講師 (3 コマ分) は学内講義の情報セキュリティ入門 (初年次ゼミナール) の内容と同じもので依頼する。(担当: 淵岡)
 - ・関川講師は 3 分野 (老人、児童、障がい者福祉法) について依頼する。(担当: 樋口)
 - ・田垣講師はこれから調整を行う。(担当: 高畑)
5. 地域リハ学コース スクーリング日について
 - (1) 平成 28 年 2 月 27 日 (土) 終日: 1 期生 1 回目スクーリング
 - (2) 平成 28 年 4 月 6 日 (水) 午後: 2 期生スタートガイダンス

(3) 平成 28 年 9 月 17 日 (土) 終日 : 1 期生 2 回目、2 期生 1 回目スクーリング

(4) 平成 28 年 10 月 8 日 (土) (仮) 午後 : 2 期生、3 期生講演聴講

(1) ~ (3) は予約済み (4) は今後予約予定 (担当 : 樋口)

6. 地域リハ学コース 補助期間終了後の展開について

- ・受講料を上げる際に情報サービスを使用できるように、学内関係部署に再審議を依頼する必要あり。
- ・大学院への併設→来年度に計画・検討を始める。教育運営会議、文科省に話を通す。大学院の科目としての条件を満たすようにプログラム内容を改定する必要あり。

7. 学士教育プログラム 現状報告

- ・来週中に学内の既存ベッドなどの物品を実習室に下ろす。
- ・10 月 14 日に学プロ検討部会で学生評価 (アンケート) の最終チェックを行う。
- ・次回の定例会に部会長が参加し、現状報告を行う。

次回会議日程 : 10 月 21 日 (水) 10:40~ 場所 : D508

資料 27

■ コアプロ 企画調整会議

■ 平成 27 年度 第 23 回議事録

- 日 時 : 2015 年 10 月 21 日 (水) 10:45-12:30
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 高畑、樋口、日垣、牛嶋、椿、蕨野 (記録)
欠席者(敬称略) : 淵岡
議 題 : 1. 学士教育プログラム進捗状況報告
2. コアプロ活動状況の確認
3. 地域リハ学コース今後の受講生について
4. 地域リハ学コース撮影状況について
資 料 : 別添
確 認 事 項 : 第 2 期内生者の受講希望が多く、定員に達した場合、新規の受講生募集は行わなくてよいのか。

【 議 事 】

1. 学プロ進捗状況報告

(1) 評価用紙、アンケート用紙の進捗状況について報告した。(詳細は第 7 回学士教育プログラム検討部会の議事録を参照。)

(2) 物品の移動について

- ・マットレス・車椅子・ホイストは本日移動完了予定。
- ・来週あたりにポジショニングクッションを収納する棚を移動予定。
- ・評価学実習室のハンドブロックなど細かいものは担当講師の授業時のみ移動予定。

(3) 山下協子先生の動画について

- ・PT→授業前に DVD の動画を見て予習する日を調整する。(担当：学プロ)
- ・OT→iPad mini で配信し、事前学習する。

(4) その他

- ・元水治療室と元 ADL 室を合せて共通で『在宅リハ実習室・ADL 室』と名称を変更する。
→名称変更を総務グループへ報告。(担当：樋口)
- ・科目の担当講師名が現在西川(智)になっているので、日垣・米津に変更する。

2. コアプロ活動状況の確認

- ・資料 1 を参照しながら、今年度の活動状況を確認した。(参照：資料 1)

3. 地域リハ学コース今後の受講生について

- ・学生教育の質を高めるために、今後は実習指導者の質を高めるという目的で、実習指導者を優先的に受講生としてとる方がいいのではという案が出た。

検討点→対象を絞ると厚労省の補助金申請条件の対象外になるのでは。

対象を絞ると受講希望生も減ってしまうのでは。(受講生の人数確保はできるのか。)

図書館を使えるなどメリットを増やすことを考えてはどうか。

4. 地域リハ学コース動画について

(1) 平成 28 年度前期撮影状況

- ・資料 2 を参考に涉外状況の確認。

→未確定や日程調整の返信待ちが多く、撮影日の決まらない講師の方が多いので、学内の渉外担当教員に再度確認。

(2) 受講生募集について

- ・資料 3 を参考に第 2 期生以降の募集に関するスケジュールを確認。

(3) 動画の公開・視聴状況について

- ・資料 4 を参考に現状を確認。現在撮影は終わっているが動画の確認などで公開ができていないものが 10 本。今月末までには公開できる予定。
- ・視聴状況については、受講生によって差が大きい。ログイン履歴を見ていると何度も再生ボタンを押している受講生がいるが、特に不具合の問い合わせはないため様子を見る。

次回会議日程：11 月 5 日（木）11:00～ 場所：D508

■ コアプロ 事業企画調整会議

■ 平成 27 年度 第 24 回議事録

- 日 時 : 2015 年 10 月 29 日 (木) 16:30-17:50
- 場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
- 出席者(敬称略) : 高畑、淵岡、樋口、牛嶋 (記録)
- 議 題 : 1. 地域リハ学コース後期撮影講師依頼状況
2. 学士教育プログラム活動状況
3. 地域リハ学コース第 2 期、第 3 期募集について
4. 地域リハ学コース講義視聴状況について
5. 地域リハ学コース成績評価、スクーリングについて
6. 本年度事業計画のうち未実施項目について
- 資 料 : 1. 地域リハ学コース講師依頼状況
2. 学士プログラム現状報告
3. 講義動画視聴ログ一覧

【 報 告 事 項 】

1. 地域リハ学コース講師依頼状況

田垣講師：時期 2～3 月、事務局から連絡を取る

小野講師：内容詳細を詰める (担当：高畑)

■■■■■：進展なし。11 月中に連絡取れなければ、樋口より再連絡

■■■■■講師：お名前・メールアドレスに変更あり⇒新家講師に修正

2. 学士教育プログラム活動状況

・初回授業終了、現況報告 (資料 2) *現時点では特に問題報告等なし

・成績評価についての検討事項は、2 回目の授業 (11 月 8 日) までに、学士教育プログラム検討部会にて審議を行う

【 審 議 事 項 】

1. 地域リハ学コース関連

(1) 第 2 期、第 3 期募集について

・定員枠拡大の検討⇒35 人程度？

・タブレット端末以外の受講環境の整備を行う⇒環境適正チェックが必要

・第 3 期以降は通信契約はせず、Wi-Fi 環境を用意可能な希望者にのみタブレット端末を貸与

・通信に係る受講環境の拡充については、コアプロ HP に案内を載せる (担当：淵岡)

(2) 講義視聴状況について

・受講ログの確認 (資料 3) *現時点では特に問題報告等なし

・スクーリング日が近づいたら、視聴必須講義を受講者に案内する

(3) 成績評価、スクーリングについて

・11 月中に地域リハ学コース検討部会を開催し、以下を決定する

①レポート課題 ②本年度 (2/27) のスクーリング内容、講師

2. 本年度事業計画のうち未実施項目について

・学会広報：11 月 公衆衛生学会総会 (長崎) ポスター発表

・視察：11月 長崎大学（担当：高畑、淵岡、樋口）、年内 医療法人マックスシール（担当：樋口）

次回会議日程： 11月12日（木）11:00～ 場所： D508

■ コアプロ 事業企画調整会議

■ 平成 27 年度 第 25 回議事録

- 日 時 : 2015 年 11 月 12 日 (木) 11:10-12:40
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 高畑、淵岡、樋口、蕨野、椿、牛嶋 (記録)
議 題 : 1. 地域リハ学コース講師依頼状況について
2. 地域リハ学コース講義視聴状況について
3. 地域リハ学コース第 2 期 (平成 28 年度春期生) 募集について
4. 地域リハ学コース成績評価について
5. 学士教育プログラム授業環境について
6. 大阪モデル視察予定について

【 報 告 事 項 】

■ 地域リハ学コース講師依頼状況について

- ・ 関川講師：講義内容を 3 つに切り分ける (社会福祉行政に関する制度や受け皿について)
⇒ 【1 コマ分】 社会福祉行政の原理的な部分を依頼 (担当：樋口)
【2 コマ分】 専門家を 2 人紹介いただく (担当：樋口)
- ・ 小野講師：事務局から連絡を取る

【 審 議 事 項 】

1. 地域リハ学コース関連

(1) 講義視聴状況について

- ・ 受講者 1 名より、通信容量超過のため視聴できないとの問い合わせあり
⇒ 来校していただき対応、もしくは電話オペレーションにて対応する (担当：淵岡)
- ・ モバイルデータ通信 (3GB) の場合、1 ヶ月の視聴上限動画数は 8 本程度
⇒ 視聴環境に制限があることを受講者の個人アドレス宛に一斉メールで再連絡する
(メール発送担当：事務局、返信担当：淵岡)

(2) 第 2 期 (平成 28 年度春期生) 募集について

- ・ 第 1 期募集の際に定員を大幅に上回る申請があったことから、定員増の方向で検討中
⇒ 下記のような意見が出たため、臨時会議*を開き、検討・確定することとする
(*11 月 13 日 18 時～ 於 D508)
- ・ 当初予定では定員増は第 3 期以降としていたが、第 2 期以降に前倒しにしてはどうか
- ・ タブレット端末及び通信契約に限りがあるため、自身で PC 等受講環境を用意可能な受講者を受け容れてはどうか
- ・ 定員を増やすとして何人とするか、また、募集方法はどのようにするか

(3) 成績評価について

- ・ レポート課題のたたき台を、地域リハ学コース検討部会 (11 月 19 日開催) で作成する

2. 学士教育プログラム授業環境について

- ・ 現在、座学の際は学生が床に座っている状態
⇒ 療法士に必要な衛生観念、自身の身体リスクへの意識が育たない恐れ
*授業では①スライド視聴→②実技というステップを繰り返すため、教室の切り分けは不可能
- ・ 丸椅子の追加、もしくは別案にて対応を検討する (担当：樋口、蕨野)

3. 大阪モデル視察予定について

- ・大阪府保健医療部（府庁） 11月24日3コマ終了後に出発（高畑、淵岡、樋口）
⇒視察の感触により、ICT講座の講師依頼を検討する

次回会議日程： 11月19日（木） 11:00～ 場所： D508

資料 30

■ コアプロ 事業企画調整会議

■ 平成 27 年度 第 26 回議事録

日 時 : 2015 年 11 月 19 日 (木) 11:10-12:20
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 高畑、淵岡、樋口、椿、牛嶋 (記録)
議 題 : 1. 地域リハ学コース 講師依頼状況について
2. 地域リハ学コース スクーリングについて
3. 地域リハ学コース 通信容量超過について
資 料 : 1. 地域リハビリテーション学コース (案) 201511 版
2. 地域リハ学コース第 2 期 (平成 28 年度春期生) 募集要項 (案)

【 報 告 事 項 】

■ 地域リハ学コース講師依頼状況について

- ・ 講師 : 講義数 1 コマ (確定) *12 月 3 日の学域教授会後に打合せ (高畑、淵岡、樋口)

【 審 議 事 項 】

1. 地域リハ学コース レポート課題について

- ・ 地域リハ学コース検討部会において案を報告、審議済み (資料 1)
- ・ レポート提出方法は、スクーリング後又は他の方法を検討する
- ・ レポート課題の提示方法は、以下の 3 パターンとする
①iPad へのメール ②フォーラム掲示板への投稿 ③manabaux のお知らせ (担当 : 淵岡)

2. 地域リハ学コース スクーリングについて

(1) 第 1 期 (平成 27 年度秋期生) 前半演習

- ・ 平成 28 年 2 月 27 日 (土) 於 I-site なんば
- ・ 講座「訪問リハにおけるリスクマネジメント」の担当講師及び内容は未定
⇒H26 年度事業に対する外部評価で指摘のあった「ケアマネージャが関わっていない」点を補う案として、羽曳野近辺のケアマネージャ 1~2 人にパネリストとして同席していただき、ディスカッションを行ってはどうか
<議題案>
 - ・ 療法士に言いたいことは?
 - ・ リハ職に関わることによって、ケアマネージャが苦勞していることは何か?
- ・ どのようなケアマネージャに打診するか (元の資格により知識傾向が異なる)
⇒ の OT に問い合わせる

(2) 第 2 期 (平成 28 年度春期生) 開講式

- ・ 平成 28 年 4 月 6 日 (水) 於 I-site なんば
- ・ 高畑研究科長によるライブ講義の開催を検討する
⇒大学の入学式と同日のため、研究科長のスケジュール調整が必要
*年内には判明する予定⇒開講式開始時刻の調整、ガイダンススケジュールの計画

(3) 第 1 期 (平成 27 年度秋期生) 修了式

- ・ 平成 28 年 10 月 1 日 (土) 於 I-site なんば
- ・ 当日に修了証の授与を行う⇒平成 28 年度前期に手続きを進める

(4) 講演欠席者への対応

- ・個別補講による対応を検討（レポートを課す） *スクーリング時に講演資料、書籍を渡す

2. 地域リハ学コース 第2期（平成28年度春期生）募集について

(1) 募集要項案（資料2）

- ・第2期用の募集要項案を作成、第1期との変更点を確認⇒修正後、事務起案（担当：椿）
- ・第2期から受講者のPCにて受講可能とするため、環境要件を記載
⇒PC受講希望者は、事前にテストサイトにて視聴可能かどうか確認を行う（希望者のみ）
 - *メール連絡のあった希望者にテストサイトの詳細を案内（担当：事務局）
 - *テスト動画は府大広報方面から入手し、マナボウに登録（担当：淵岡）

(2) 受講者証

- ・第1期の作成時に写真サイズ等改良を検討すべき点が見られたため、第2期の受講者決定時に、学生グループを通して中百舌鳥Cの学生課と相談する

3. 地域リハ学コース 通信容量超過について

- ・講義受講開始後、通信容量超過のため動画視聴ができない状況にある第1期の受講者1人について、詳細聞き取り及び端末交換等の対応中（担当：淵岡）

<今後の対策>

- ①初回ガイダンス時に、移動中の視聴は想定していない旨を案内（第2期～）
- ②容量が不足した際は、視聴方法の変更を提案
- ③視聴方法を変更しても動画再生が困難な場合は、SIMカードを交換

次回会議日程 : 11月26日（木）11:00～ 場所 : D508

資料 31

■ コアプロ 事業企画調整会議

■ 平成 27 年度 第 27 回議事録

- 日 時 : 2015 年 12 月 11 日 (金) 10:50-12:00
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 高畑、淵岡、樋口、蕨野、椿、牛嶋 (記録)
議 題 : 1. 地域リハ学コース講義撮影状況について
2. 地域リハ学コース撮影日程について
3. 地域リハ学コース講義数について
4. 地域リハ学コース講師依頼状況について
5. 地域リハ学コース初回スクーリングについて
6. 地域リハ学コース受講環境について
資 料 : 1. 講義時間一覧表
2. 撮影日程表 (12 月～1 月)
3. manabaux 不具合事象報告書

【 報 告 事 項 】

1. 地域リハ学コース講義撮影状況について
 - ・全講義の撮影済み時間の確認 (資料 1)
 - ・第 1 期 (平成 27 年度秋期生) 修了時点で各講義動画の最後に「問題と解答」の設置を検討
2. 地域リハ学コース撮影日程について
 - ・12 月～1 月の予定の報告確認、講師への挨拶担当教員の確認 (資料 2)

【 審 議 事 項 】

1. 地域リハ学コース講義数について
 - ・講義「ICT セキュリティの基本」について、担当講師より 6 章立ての構成案の打診あり
⇒3 コマから 6 コマに講義数を追加することとする
*WEB システム manabaux には、既存の講義番号に追加で 3 コマ分を登録する
2. 地域リハ学コース講師依頼状況について
 - ・未内諾の講義「施設間の医療情報共有と倫理」⇒担当教員から打診予定の機関に連絡
 - ・内諾後、日程調整開始に至っていない講師の確認⇒担当教員から年内に連絡を取る
 - ・講義「在宅医療・終末期医療とセラピストの役割」については、事務局から渉外担当教員の田中に連絡を取り、進捗確認を依頼
3. 地域リハ学コース初回スクーリングについて
 - ・第 1 期 (平成 27 年度秋期生) 前半スクーリング (H28.2/27 開催) のスケジュールを検討
<当日スケジュール案>
講義時間 : 9 時 15 分開始、16 時 45 分頃終了*各講義間の休憩 (10 分)、昼休憩 (60 分) 含む
講義順番 : 【案 1】 午前① 講座「訪問リハにおけるリスクマネジメント」演習 (2 コマ)
午前② 講義「コミュニケーションスキルのコーチング」(1 コマ)
午後 講義「組織における問題点評価、整理、解決方法」(3 コマ)
【案 2】 午前① 講義「コミュニケーションスキルのコーチング」(1 コマ)
午前② 講座「訪問リハにおけるリスクマネジメント」演習 (2 コマ)
午後 講義「組織における問題点評価、整理、解決方法」(3 コマ)

当日提出物：レポート（2講座分、事前に受講生が準備し持参）⇒全講義終了後に回収？

受講環境についてのアンケート⇒講義開始前に配布し、全講義終了後に回収？

- 当日の講義担当各講師へは、詳細確定後にスケジュールを案内する
 - *連絡担当：広瀬講師 未定（高畑？）、山本講師 樋口、講師未定 未定
- 講師未定の講義（講座「訪問リハにおけるリスクマネジメント」中の演習 2h）については、
[REDACTED] の OT [REDACTED] 氏に、同社内のケアマネージャの紹介を依頼する（担当：蕨野→樋口）
- 学内の当日出席予定者：教員 高畑、淵岡、樋口 事務局 牛嶋

4. 地域リハ学コース受講環境について

(1) 視聴サイト（manabaux）の通信障害発生について

- 11月25日13時50分頃～30分間程度、manabauxへ接続不可の現象を事務局にて確認
⇒シャープビジネスソリューションの担当者に報告
⇒11月30日、運営元のビムーブ（株）の不具合事象報告書をシャープビジネスソリューションを介して受領、再発防止・安定稼働を申し入れ（資料3）
*今後のシステム改善のため、気になる点や要望があれば連絡が欲しいとのこと

(2) 前期に撮影した動画データについて

- 撮影編集担当の（株）シンクベースより、H27年度前期撮影分講義動画データへの対応について破棄または外付けHDD等別媒体への移動の検討依頼あり（現在は社内保管だが、後期撮影分のデータが加算されるとディスクが容量オーバーとなるため）
⇒成果物はDVD納品されているため、破棄とする

次回会議日程：12月17日（木）11:00～ 場所：D508

■ コアプロ 事業企画調整会議

■ 平成 27 年度 第 28 回議事録

- 日 時 : 2015 年 12 月 17 日 (木) 11:00-12:15
 場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
 出席者(敬称略) : 高畑、淵岡、樋口、蕨野、椿、牛嶋 (記録)
 議 題 : 1. 学士教育プログラムの評価について
 2. 文部科学省からの疑義再照会について
 3. 地域リハ学コース募集状況について
 4. 地域リハ学コース視聴トラブル報告について
 5. 地域リハ学コース初回スクーリングについて
 6. 外部評価委員会について
 7. 本年度報告書について
 資 料 : 1. 課題解決型高度医療人材養成プログラム (平成 26 年度実績報告書)
 疑義照会

【 報 告 事 項 】

1. 学士教育プログラムの評価について
 - ・ 来年 1 月中旬までに部会を開催予定、現在日程調整中 (担当: 蕨野)
 - * 学生の授業評価アンケート結果及び次年度の備品について検討予定
2. 文部科学省からの疑義再照会について
 - ・ 文部科学省から、平成 26 年度実績報告書について再度疑義照会があったことを報告
 - ・ 指摘箇所及び修正内容、回答を報告 (資料 1)

【 審 議 事 項 】

1. 地域リハ学コース募集状況について
 - ・ 本日時点での申請者数は ■ 人 (うち 1 人は申請書未着)
 - ・ 募集締め切り前に、広報活動を行うかどうか
 ⇒ 第 2 期については、これから広報活動を行って、第 1 期の募集時のように締め切り間際に定員を大幅に上回る申請があると取り扱いが困難になるため、現状のまま保留とする。第 3 期の募集開始前には、広報活動を実施することとする。
2. 地域リハ学コース視聴トラブル報告について
 - ・ 受講者より、「講義を視聴し終えたのに、manabaux の視聴状況の【未】マークが【済】にならない」との事例報告あり、対応を検討
 対応① 受講者に実態把握のための調査を行う
 * メールにて、同様の現象が発生していないか問合せ (担当: 椿)
 対応② ①の結果を受け、年内にシャープビジネスソリューションに現状報告及び改善の有無を問合せ (担当: 牛嶋)
3. 地域リハ学コース初回スクーリングについて
 - (1) スクーリングまでに視聴必須の講座
 - ・ 下記 3 講座については、スクーリングまでに講座内の全講義を視聴しておく必要があることを受講者にメール連絡 (担当: 椿) * 視聴状況を大学側で確認していることも併せて連絡
 「コミュニケーションと組織マネジメント」⇒スクーリング対象講座

「訪問リハにおけるリスクマネジメント」⇒スクーリング及び当日レポート提出対象講座
「生活期の疾病理解」⇒当日レポート提出対象講座

(2) 講師依頼

- ・講座「訪問リハにおけるリスクマネジメント」演習について、前回定例会で打診を決定したケアマネージャについては、依頼ルートの難しさや依頼期間の短さから、打診が困難な状況と判明したため、別の方を探す
 - 案1：樋口経由で心当たりを打診⇒困難な場合、羽曳野市福祉協会に依頼
 - 案2：学内教員（内藤）に問合せ（担当：樋口）
 - 案3：堺市健康福祉部 上野様、三浦様、山田様に打診（担当：高畑）
 - *案3については、依頼内容を樋口から高畑にメール後に打診
- ・講座「コミュニケーション～」演習担当の広瀬講師へは、演習内容についての連絡は樋口より、当日スケジュール及び事務的な連絡は事務局の椿より行う
- ・スクーリング講師への謝金支払いは、実働時間で計算する（準備期間は含まない）
 - *広瀬講師については、学外講師又は学内講師どちらの扱いになるか、教育推進課の大久保課長の回答を待つ（担当：高畑）

4. 外部評価委員会について

- ・年明け～メールにて委員継続意思確認（担当：牛嶋）
- ・上記意思確認後、平成27年度の事業評価日程調整（担当：牛嶋）
候補日：平成28年4月2日（13時～）、16日、23日、30日（8日、9日については要学内調整）
*金曜日の夜は18～20時、土曜日は10～17時の間で2時間区切り

5. 本年度報告書について

- ・前年度冊子体で配布した施設を除き、基本はデータ媒体での配布とする（PDF）
- ・10～20部程度は学内製本もしくは次年度印刷会社に発注？
 - *学内製本の場合、総リハ学部長秘書に依頼（3月末～4月初旬）
- ・前年度報告書を参考に、目次の素案を作成（担当：牛嶋）

次回会議日程：12月24日（木）11:00～ 場所：D508

■ コアプロ 事業企画調整会議

■ 平成 27 年度 第 29 回議事録

日 時 : 2015 年 12 月 24 日 (木) 11:00-12:55
 場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
 出席者(敬称略) : 高畑、淵岡、樋口、椿、牛嶋 (記録)
 議 題 : 1. 地域リハ学コース第 2 期生受講者選考について
 2. 地域リハ学コース初回スクーリングについて
 3. 地域リハ学コース視聴トラブル報告について
 資 料 : 1. 視聴トラブル調査途中報告

【 審 議 事 項 】

1. 地域リハ学コース第 2 期生受講者選考について

- ・ 第 2 期生受講者選考委員会の日程調整 (担当: 樋口) 候補日: 1 月 14 日、15 日
- ・ やむなく欠席する委員には、持ち回りで押印依頼

2. 地域リハ学コース初回スクーリングについて

(1) 講義「組織における問題点評価、整理、解決方法 (演習)」

- ・ 講師にセラピスト業界についてご理解いただくための材料提供として、事前に受講者にメールで意見聴取を行い、講師へ伝える (担当: 事務局、時期: 年内)

聴取内容: 受講者のプロフィール

① 所属、役職、経験年数

② 対象者層

③ 組織内のチームを作る際に苦労したこと、新規プロジェクト立ち上げの際に苦労したこと、成功と失敗談

- ・ 受講者のプロフィールと併せて、演習の中身の細部を講師に報告する (時期: 年明け)

(2) 講義「在宅ケアにおける活動の課題 (演習)」

- ・ 3 人のケアマネージャより、講師快諾の返事をいただいた
- ・ 12 月 28 日、1 月 4 日、1 月 6 日に高畑研究科長が説明のため各講師を訪問
- ・ 講師への依頼内容: 事例の提示 (プレゼン)、受講者への提言 (サジェッション)
- ・ 当日スケジュール: ①【講師】事例のプレゼン (20 分×3)
 ②【受講者】①を受けたディスカッション、解決案発表^{*1)} (40 分)
 ③【講師】②のグループ案へのサジェッション (20 分)

*1) 受講者を 5 人×5 グループに分けて行う (1 グループに在宅系施設勤務者と病院勤務者が混在するようにする)

◆ 講師プレゼンの事例の内容案 (本学提示)

(i) セラピストの耳には入りづらいが、セラピストに起因する問題

(ii) 連携不足により生じる医学的リスク・対人リスク、連携のために必要なこと

< 具体例 >

・ コンダクターとしてのケアマネージャの視点で、PT・OT⇔利用者・家族⇔他職種間の連携不足により生じた問題事例

・ 直接セラピストには言わないが、看護師経由でケアマネージャに来る利用者の苦情

⇒ セラピストとしては把握しづらい、アンダーグラウンドな情報を教えて欲しい

⇒ 受講者から事例を持たせるか?

★ 3 人の講師間で、内容調整をしていただく必要あり

3. 地域リハ学コース視聴トラブル報告について

- 受講者1名より、動画を月5本程度視聴すると、それ以降動画再生ができないとの報告あり
⇒Wi-Fiを利用できる環境であれば出来る限り利用いただき、年末まで様子を見ていただくよう連絡する（担当：椿）
- 全受講者に対し、上記と同様の現象が発生していないかメールにて調査中（資料1）
⇒調査終了後、結果をシャープビジネスソリューションに報告するとともに改善要求を行う

次回会議日程 : 1月7日（木）11:00～ 場 所 : D508

資料 34

■ コアプロ 事業企画調整会議

■ 平成 27 年度 第 30 回議事録

日 時 : 2016 年 1 月 14 日 (木) 11:20-12:00
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 高畑、淵岡、樋口、椿、牛嶋 (記録)
議 題 : 1. 地域リハ学コース講師依頼状況について
2. 外部評価委員について
3. 大阪モデル視察について
4. 地域リハ学コース第 1 期生スクーリングについて
5. 地域リハ学コース受講状況ログについて

【 報 告 事 項 】

1. 地域リハ学コース講師依頼状況について
 - ・現在の撮影状況及び撮影日程未確定の講師を確認
⇒年度内に撮影及び納品を完了しなければならないため、講師への連絡をこまめに行う
2. 外部評価委員について
 - ・昨年度に依頼した委員 6 人に、委員継続の可否を確認中 (担当 : 牛嶋)
3. 大阪モデル視察について
 - ・2 月中に、樋口が医療法人マックシールを視察予定

【 審 議 事 項 】

1. 地域リハ学コース第 1 期生スクーリングについて
 - ・当日のタイムスケジュールの確認
午前①9:15-11:15 上野講師、三浦講師、山田講師
午前②11:30-12:30 山本講師
午後 13:30-16:45 広瀬講師 (途中 15 分程度休憩)
 - ・受講生への事前アンケート
現在調査中 (25 人中 14 人回答済)、1 月 17 日 (日) 回答期限
18 日以降、山本講師及び広瀬講師へ講義内容充実のためフィードバックする

< 午前①について >

- ・各講師の担当を現在調整中
上野講師 : 看護職との連携、リスク等
三浦講師 : セラピストの間でよく見られる事例
山田講師 : 訪問リハの実情
*3 人とも事例提示は難しいとのこと
*演習で解決策を教えることは困難⇒解決の糸口を見つけるという形を想定
- ・演習内容
講座「訪問リハにおけるリスクマネジメント」のレポートを踏まえ、リスクを拡大して捉え、地域・在宅に関わる際の訪問リハにおける課題をグループごとにディスカッションの上、発表する。講師はこれを 3 人で役割分担して聞き、サジェッションを行う。

2. 地域リハ学コース受講状況ログについて

- 講義動画を視聴完了したにも関わらず、実施状況が「済」にならない現象が複数報告されている
- 現在報告されている症状とは異なる新症状の報告あり
- 2月27日の第1期生スクーリングの際に現状調査を行う（現在、資料作成中（担当：蕨野））
⇒受講生に当日の持ち物としてiPadが必要なことを連絡する（担当：椿）

次回会議日程 : 1月21日(木) 11:00～ 場所 : D508

資料 35

■ コアプロ 事業企画調整会議

■ 平成 27 年度 第 31 回議事録

日 時 : 2016 年 1 月 21 日 (木) 11:00-11:45
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 高畑、淵岡、樋口、蕨野、牛嶋 (記録)
議 題 : 1. 地域リハ学コース第 1 期生初回スクーリングについて
2. 地域リハ学コース次年度の通信契約について
3. 地域リハ学コース撮影進捗について
4. ワークショップについて
5. 次年度の広報活動について
資 料 : 1. schooling 前アンケートまとめ (1 期生)

【 審 議 事 項 】

1. 地域リハ学コース第 1 期生初回スクーリングについて
 - ・広瀬講師へ第 1 期生のスクーリング前アンケート結果 (資料 1) をデジタルで送付 (担当: 樋口)
※個人名は削除
 - ・視聴ログとの整合性を見るため、スクーリング当日に第 1 期生に確認表を配布し、視聴を終えた講義がログと対応しているかチェックする時間を設ける
2. 地域リハ学コース次年度の通信契約について
 - ・通信容量及び予算を考慮の上、平成 28 年度は下記 2 案から検討
 - 【案 1】第 1 期生分[(継続) 3GB×25 回線]+
第 2 期生分[(新規) 3GB×14 回線]
 - 【案 2】第 1 期生分[(継続) 3GB×21 回線+ (容量 up) 7GB×2 回線]^{*1)}+
第 2 期生分[(新規) 3GB×14 回線]
 - *1) 第 1 期生のうち 2 人から通信不要の了承を得たため、2 回線削減
 - ・第 2 期生初回ガイダンス (2016/4/6) において、iPad 貸与の受講生に Wi-Fi 併用かどうかを聴取
⇒通信容量変更手配 ①Wi-Fi 併用者: 3GB (据え置き)、Wi-Fi 不使用者: 7GB (容量変更)
3. 地域リハ学コース撮影進捗について
 - ・1~3 月の講義撮影予定、未確定部分を確認
4. ワークショップについて
 - ・3 月 16 日 (水) に羽曳野キャンパスにおいて「平成 27 年度教育プログラム構築のためのワークショップ (仮)」を開催する
 - ・作業療法学専攻のバイザー会議後に実施
⇒バイザー会議担当教員の稲富、大西と樋口が相談
バイザー会議の参加者数、会場、パンフレット配布の可否等は大西に確認する (担当: 蕨野)
5. 次年度の広報活動について
 - ・第 50 回日本作業療法学会 (2016/9/9-9-11) への参加を検討 (担当: 高畑)
⇒ポスター発表、パンフレット配布等、参加形態は未定

次回会議日程 : 1 月 28 日 (木) 11:00~ 場 所 : D508

資料 36

■ コアプロ 事業企画調整会議

■ 平成 27 年度 第 32 回議事録

- 日 時 : 2016 年 1 月 28 日 (木) 11:04-12:00
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 高畑、淵岡、樋口、蕨野、椿、牛嶋 (記録)
議 題 : 1. 本年度報告書作成について
2. 地域リハ学コース撮影進捗について
3. 本年度事業計画の確認
4. 地域リハ学コース第 1 期生 1 回目スクーリングについて
5. 地域リハ学コース視聴システム (manabaux) について
資 料 : 1. 平成 27 年度報告書目次 (案)
2. H27 年度の補助事業実施計画

【 報 告 事 項 】

1. 本年度報告書作成について

- ・平成 27 年度事業報告書作成への協力依頼⇒各部長へ、樋口より本日午後説明
- ・目次素案を参考に、修正及び加筆は部長に任せる (資料 1)
- ・前年度からの変更点：議事録は本文後の末尾に資料としてまとめる
議事録以外の資料は、各部長の報告に差し込む
- ・作成及び使用スケジュール：
 - 2 月 19 日 (金) : 部長原稿締切
 - 2 月 22 日 (月) ~26 日 (金) : 学内校正
 - 2 月 29 日 (月) : 印刷所へ入稿
 - 3 月 14 日 (月) : 納品 (予定)
 - 3 月 18 日 (金) : 外部評価委員へ報告書発送
 - 3 月 22 日 (火) ~4 月 01 日 (金) : 外部評価委員チェック
 - 4 月 02 日 (土) : 外部評価委員会

2. 地域リハ学コース撮影進捗について

- ・現況確認
 - 岩崎講師：3 月 10 日 (3 コマ分)
 - 新家講師：3 月 8 日 (1 コマ分)
 - 曾我講師：3 月 8 日 (2 コマ分)
 - 田垣講師：2 月 16 日 (2 コマ分) 於 中百舌鳥キャンパス *撮影業者のみで伺う
 - 高畑 : 3 月 10 日 (1 コマ分) 15:30-
 - 三家講師：撮影日程調整中

3. 本年度事業計画の確認

- ・現時点での達成状況について確認 (資料 2)
⇒未達成事項^{*1)}に関しては、年度内に達成する見込み
 - *1) H27 年度の補助事業実施計画より
 - ⑨⑩：3 月 16 日 (水) にワークショップを開催 (スライド作成、パンフレット配布)
 - ⑬ : 2 月 3 日 (水) に樋口が医療法人マックシールを視察
 - ⑭ : 実践評価部会において、内藤がまとめを作成中
 - ⑮ : 現在、進行中
 - ⑯ : 2-3 月中に、報告書を作成し自己点検評価を実施する

【 審 議 事 項 】

1. 地域リハ学コース第1期生1回目スクーリングについて
 - ◆事前準備や確認事項に漏れがないか確認
 - ・第1期生のスクーリング前アンケート結果は講師に送付済み
 - ・「訪問リハにおけるリスクマネジメント 演習」のグループを事前に作成（担当：樋口）
 - ・ホワイトボード立看用の案内ポスターを作成（当日掲示、A3縦1-2枚、担当：事務局）

2. 地域リハ学コース視聴システム（manabaux）について
 - ・受講履歴の管理方法の改善検討
⇒全 e-learning 講義に対し視聴終了後のアンケートを manabaux 上に設置してはどうか
 - ・講義動画冒頭画面の統一を検討
⇒2015年10月1日公開済みの全 e-learning 講義にも2016年4月1日公開（予定）講義と同様に、講義動画の冒頭に10秒間講義タイトル等の静止画を追加してはどうか
 - *撮影委託業者・編集業者への依頼をし、返答次第で実行
 - *静止画の追加作業実施には公開済みの講義動画を一旦全て公開停止する必要があるため、第1期生に周知した上で、3月中に1-2日間程度の公開メンテナンス日を設ける必要あり

次回会議日程 : 2月12日（金）13:30～ 場 所 : D508

資料 37

■ コアプロ 事業企画調整会議

■ 平成 27 年度 第 33 回議事録

- 日 時 : 2016 年 2 月 12 日(金) 13:30-15:00
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 高畑、淵岡、樋口、椿、蕨野 (記録)
議 題 : 1. ワークショップについて
2. 地域リハ学コース iPad 貸出について
3. 地域リハ学コース来年度動画撮り直しについて
4. 地域リハ学コース今後の予定について
5. 地域リハ学コース第 1 回スクーリング班分けについて
6. 平成 27 年度コアプロ予算について
7. ロゴについて
- 資 料 : 1. H28 年度講義動画改定の希望有無
2. 地域リハビリテーション学コース schooling 日
3. コアプロ 1 期生__前半スクーリング班
4. コアプロ予算
5. ロゴの届出

【 審 議 事 項 】

1. ワークショップについて
 - ・実施日時 : 3 月 16 日 17 : 00 ~ 約 1 時間 使用する部屋 : L403
 - ・OT のバイザー会議に参加する回復期以降の病院・訪問系の方に参加依頼をし、参加者は 2 月末 ~ 3 月頭に決定する。(決定後大西へ参加人数確認。)
 - ・学プロの実施内容を約 20 分で日垣先生から説明していただく。(樋口が日垣へ後日詳細の説明を実施する。)
2. 地域リハ学コース iPad 貸出について
 - ・受講者が途中で iPad の貸出を希望してきた場合でも、自宅の Wi-Fi 環境が使用できるのであれば、本体だけの貸出は可とする。
3. 地域リハ学コース来年度講義動画撮り直しについて
 - ・2 月 10 日時点での集計は資料 1 を参照。回答期限は 2 月 14 日 (日)。
 - ・現状撮り直しを希望されている講師の中で 1 名は交通費が必要。その他講師は不要。
4. 地域リハ学コース今後の予定について
 - ・資料 2 を参照。
 - ・2 期生の修了式を平成 29 年 3 月 18 日 (土) とする。(I-site の予約が可能になり次第、事務局で予約の手続きを行う。C1・2・3 もしくは C の続きで使用できる部屋 2 部屋を 9 : 00-17 : 00 で予約。)
 - ・5 期生までは半期ごとに募集し、6 期生以降は 10 月始まりの募集 (年 1 回) に統一する。
5. 地域リハ学コース第 1 回スクーリング班分けについて
 - ・資料 3 を参照。性別・資格・職歴・職場に偏りがないよう 5 班に振り分けた。
6. 平成 27 年度コアプロ予算について
 - ・資料 4 を参照。色が付いているところは未確定な部分。

- ・報告書は200ページ以内で作成する予定。
- ・予算に余裕があれば、府民講座予算から丸椅子、介助グローブ等を購入する。

7. ロゴについて

- ・資料5を参照。
- ・ガイドラインの作成を高畑研究科長から総務グループへ依頼することとなった。ガイドラインが出来れば届出の「ガイドライン有無」を変更する。
- ・ロゴは文字が書いているものとないものがあるので、バリエーションをどちらも貼る。

次回会議日程 : 2月18日(木) 11:00～ 場所 : D508

資料 38

■ コアプロ 事業企画調整会議

■ 平成 27 年度 第 34 回議事録

日 時 : 2016 年 2 月 18 日 (木) 11:00-12:10
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 淵岡、蕨野、椿、牛嶋 (記録)
議 題 : 1. 地域リハ学コース 第 1 期生 1 回目スクーリングについて
2. 部局ロゴ届出について
3. 地域リハ学コース eラーニングクイックマニュアル改訂について
資 料 : 1. プロジェクトロゴ使用承認基準(案)
2. 「地域リハビリテーション学」コース eラーニングクイック・マニュアル

【 審 議 事 項 】

1. 地域リハ学コース 第 1 期生 1 回目スクーリングについて
 - ・ 当日までの準備物、持参物について確認
各講師資料 (配布要請があれば)
座席表、班分け表⇒作成する (担当: 事務局)
講義視聴ログ確認表⇒2 月 25 日時点で状況記入し作成 (担当: 蕨野)
 - ・ 演習会場内のレイアウト検討
班ごとに行う演習のために、机の配置を変更
⇒1~5 班ごとに着席 (グループワーク時は各壁側、聴講時は中央側の座席)
前日にレイアウト変更作業が必要?
 - ・ 当日の配布物、回収物の確認
昼休憩に入った時点で「講義受講ログチェック表」を配布、説明 (担当: 淵岡)
同時に受付にてレポート回収の案内 (回収担当: 牛嶋)
*午後の演習が行われている間に、レポート未提出者がいないか確認
もし未提出者がいたら、演習終了後に声をかける (担当: 牛嶋)
2. 部局ロゴ届出について
 - ・ 山田総務 G 長がコアプロロゴの使用承認基準 (案) を作成 (資料 1)
山田 G 長からの総リハー括の基準ではなくコアプロ単体の基準してはどうかとの助言を受け、その方向で検討 (高畑研究科長へ確認)
 - ・ デザイン仕様書を作成する
3. 地域リハ学コース eラーニングクイックマニュアル改訂について
 - ・ 第 2 期生から PC 受講の選択肢が増えたため、PC 受講向けの説明及び受講生間ディスカッション掲示板「サイボウズ」のマニュアル等を追記し改訂した (資料 2)
⇒4 月 6 日の第 2 期生開講式で配布 (印刷担当: 事務局)
*追記や修正箇所があれば淵岡へ

次回会議日程 : 2 月 24 日 (水) 11:00~ 場 所 : D508

資料 39

■ コアプロ 長崎大学との情報交換会

■ 平成 27 年度 議事録

日時：2015 年 8 月 11 日（火）13:30-17:00

場所：総合リハビリテーション学部長室

出席者(敬称略)：長崎大学 医歯薬学総合研究科 井口 茂 教授、東登志夫 教授
大阪府立大学 高畑、淵岡、樋口、牛嶋(記録)

議題：両校プログラムの進捗状況

資料：1. プログラム説明資料一式(長崎大)
2. プログラム説明資料一式(府大)

【情報交換会内容】

1. 長崎大学の事業「高度リハビリ専門職の養成—長崎地域包括ケアシステムを活用したプログラム—」の概要説明
2. 大阪府立大学の事業「在宅ケアを支えるリハビリ専門職の育成—医療と在宅ケアの連携を推進する人材養成プログラム—」の概要説明
3. 大阪府立大学の履修証明プログラムについての説明
4. 遠隔授業システムについての説明
 - (1) 長崎大学の採用システム
 - (2) 大阪府立大学の採用システム
5. 質疑応答

以上

資料 40

■ コアプロ 地域リハビリテーション学コース検討部会

■ 平成 27 年度 第 1 回議事録

- 日 時 : 2015 年 4 月 16 日 (木) 13:30~14:30
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 樋口部会長、平岡、稲富、日垣、岩田、田中、小栢、牛嶋 (記録)
議 題 : 現在の進捗状況報告及び講師依頼状況確認
資 料 : 1. 院プロ_201504
決 定 事 項 : 1. 討議 (スクーリング) は、大項目のまとめ あるいは 講義と連携した演習とすることとした。
2. 最初の講義撮影を行う講座「生活期の疾病理解」について、5 月からの撮影開始に向けて、具体的な講義内容の検討を開始することとした。

【 審 議 事 項 】

1. 学外講師への依頼状況

- ・地域リハコースの開始記念講演⇒ナラティブホーム 佐藤伸彦先生 (9 月または 10 月)
- ・メンタルヘルス⇒①西川 (隆)、稲富 ②奈良医大 ③羽曳野 C 産業医
- ・訪看 Ns.⇒セラピストに近いところで事例を話していただける方

2. 討議 (スクーリング)

- ・大項目のまとめ または 各講義とのペア⇒仕切り役が必要

3. 講義撮影準備

- ・講座「生活期の疾病理解」の総リハ担当者⇒5 月～撮影、内容を具体的に検討

【 報 告 事 項 】

1. 学内講師の依頼

- ・高畑研究科長が順次依頼中

2. 講義撮影

- ・委託先との契約 5 月から行う予定で調整中

次回会議日程 : 未定 場 所 : D508

次回までの課題 : 先行して撮影する 4 項目について、以下の情報を事務局までメールにて提供する。

- ・撮影日時 ・場所

資料 41

■ コアプロ 地域リハビリテーション学コース検討部会

■ 平成 27 年度 第 2 回議事録 (案)

- 日 時 : 2015 年 5 月 28 日 (木) 13:00~14:05
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 樋口、平岡、稲富、日垣、岩田、牛嶋 (記録)
欠席者(敬称略) : 田中、小栢
議 題 : 講義動画サンプルの紹介および講師依頼状況確認
資 料 : 1. 院プロ更新用
決 定 事 項 : 1. 講師依頼調整は、内諾後は事務局で行うこととした。

【 審 議 事 項 】

1. 講師依頼調整 : 資料 1 を参照
2. 著作権 : データはダウンロード不可のため、クラウドから流出することはない
3. 募集要項 : 今後作成 (7 月頃~府大 HP 上で公開予定)

【 報 告 事 項 】

1. 講義動画サンプル作成
 - ・ 4 分程度の講義動画サンプルを作成済み
 - ・ 講義形態は以下の 3 パターン
 - ①BIG PAD (大型モニタ)
 - ②画面分割 (PP+講師動画並列)
 - ③壁貼付ホワイトボード
 - 【注意点】ポインタが映らないため、指し棒の使用等が望ましい
スライド使用の場合、次頁へ送る方法を要検討 (講師本人 or 撮影スタッフ)
2. 講師謝金
 - ・ 講義資料の事前準備時間・完成動画の確認時間を含め、1 講義につき 120 分で計上
 - ・ 次年度の完成動画使用には、以下の三段階により謝金額を決定する
 - ①改訂なし②一部改訂③全面改訂
3. 10 月 2 日スタートアップセミナー
 - ・ ポスター完成済み
 - ・ 院生への周知を徐々に行う

次 回 会 議 日 程 : 未 定 場 所 : D508

次 回 ま だ の 課 題 : 講 師 の 承 諾 を 得 た ら、講 師 の 氏 名 と メール ア ド レ ス を 事 務 局 ま で 報 告
す る。そ の 後 の 事 務 的 な 調 整 は 事 務 局 で 行 う。

■ コアプロ 地域リハビリテーション学コース検討部会

■ 平成 27 年度 第 3 回議事録

- 日 時 : 2015 年 7 月 2 日 (木) 10:00~11:00
 場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
 出席者(敬称略) : 樋口、平岡、稲富、日垣、岩田、田中、小栢、牛嶋 (記録)
 議 題 : 1. 募集要項案の確認・修正
 2. 講座準備状況確認
 3. 評価指標検討
 資 料 : 1. 大阪府立大学総合リハビリテーション学研究科 履修証明プログラム 地域リハビリテーション学コース募集要項 (案)
 2. 0702 更新_地域リハ学コース
 決 定 事 項 : 1. 募集要項 (案) の内容について、適宜修正を行うこととした。
 2. 講座「在宅ケアにおける予後予測」及び「生活期の疾病理解」の時間数を調整し、通年の講義時間数のバランスを取ることにした。
 3. 評価指標について、小栢委員を主担当とし、素案を作成することとした。

【 審 議 事 項 】

1. 募集要項案、今後のスケジュール

(1) 募集要項案の確認、修正 (資料 1)

- ・ 募集人員：定員を超える応募の場合、受講不可のメール連絡時に、来期応募いただけたら優先的に受講許可を出すという内容を盛り込む
- ・ 応募資格：募集要項案の応募資格欄 下段を採用
- ・ 開講期間：1 年 但し、スクーリングについてのみ、別対応を検討（弔事や感染症疾病等やむを得ない理由により欠席の場合に限る）⇒補修・レポート等？
 *「受講開始時期は 4 月（春期生）もしくは 10 月（秋期生）とする」と変更
- ・ 履修時間：用語の注釈を追加 (*1 e-learning とは、*2 スクーリングとは)
- ・ 修了要件：スクーリング以外の要素で 120 時間未履修の受講生は、再度ゼロから
- ・ 日程：開講式及びスタートアップセミナーの時間が受講許可者には分かるよう後に連絡

(2) 今後のスケジュール

- ・ 申請期間：1 ヶ月弱の予定 (7 月中旬~8 月上旬)
- ・ 申請方法：次の 2 点を簡易書留で郵送 ①受講申請書 ②PT 又は OT の国家資格の写し
- ・ 受講生決定：8 月第一週

2. 講座の準備状況 (資料 2)

(1) 27 年度後期開講 4 講座の準備状況

- ・ 講義「メンタルヘルスについて」の講師：学内 稲富 (決定)
- ・ 講義「組織内の問題点評価、整理、解決策」の講師 (中百舌鳥 Fledge 講師)：高畑研究科長が調整中 (正式には未承諾)
- ・ 講義「発達障害をもつ子どもの理解、対応」の講師：学外 2 人に打診中 (立山、田中が調整中)
 ⇒講義 1h 加算

(2) スクーリングの検討

- ・ 講師未定の講義について、担当講師を検討する必要あり
- ・ 講座「生活期の疾病理解」のスクーリング (2h) を講座「在宅ケアにおける予後予測 -ゴール設

- 定と予防-」に移動し、27年度後期開講講座と28年度前期開講講座の時間数を調整
- ・27年度後期、28年度前期 計13h（スタートアップ・セミナー4h含む）
うち7h（27後期）：2月27日の1日で実施予定
6h（28前期）：9月（I-site なんばの予約開始時（27年9月）に即時予約）

3. 評価

(1) 確認テスト、レポート

- ・成績は20年間保存（規程による）
- ・レポートの実施方法：ピュアレビュー（授業支援システム利用）もしくはマナボウでのアンケート実施を検討

(2) 受講生の評価指標

- ・小栢実践評価部会委員を中心に素案を作成、本部会内にて検討
 - ①受講生側からの評価（プロジェクトに対する評価）
 - ②受講生の到達評価（受講前後における成績以外の意識や興味といった変化）
⇒10月2日のスタートアップ・セミナー時に、受講前の評価を行う

次回会議日程：未定 場所：D508

伝達事項：27年度後期開講講義の撮影日時が全体の7～8割決定次第、事務局より委員へ撮影日時カレンダーをメール添付にて送付する。

資料 43

■ コアプロ 地域リハビリテーション学コース検討部会

■ 平成 27 年度 第 4 回議事録

- 日 時 : 2015 年 9 月 4 日(金) 10:00~10:50
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 平岡、稲富、日垣、岩田、田中、小栢、椿、牛嶋 (記録)
欠席者(敬称略) : 樋口
議 題 : 1. 講義撮影関係
2. 評価関係
3. 27 年度後期講義撮影関係
4. 受講者関係
資 料 : 1. 地域リハビリテーション学コース受講者へのアンケート
2. 地域リハビリテーション学コース (案) 201508 版
決 定 事 項 : 1. 講義撮影時の講師の目線について、後期撮影に向けて改善検討を行うこととした。
2. 評価票について、9 月 11 日までに修正案の集約を行うこととした。
3. 後期撮影講義について、教員担当講義・事務局担当講義の確認を行い、担当毎に講師への連絡調整を行うこととした。

【 審 議 事 項 】

1. 講義撮影関係

- ・実際に撮影を終えた講師から、カメラ・PC 両方へ目を配りながらの講義が難しく感じたとの意見が複数出ている
- ・PC 操作 (頁送り) のため、視線が下がりがちになる⇒後期以降の撮影に向けて検討を行う

2. 評価関係 (資料 1)

- ・評価票 (案) について修正点を検討⇒意見はメールで集約 (9/11 までに樋口、小栢宛に回答)
- ・9 月中に完成させ、10/2 のスタートアップ・セミナーで受講者に配布する

3. 27 年度後期講義撮影関係 (資料 2)

- ・講師との連絡調整について、各進捗状況を報告
- ・教員対応の講師については、教員の指示を受けた段階で事務局が対応を引継ぐ (日程調整前後を想定)
- ・事務局対応可の講師については、事務局が進める

【 報 告 事 項 】

1. 受講者関係

- ・第 1 期生受講者選考委員会資料の回覧を行い、受講者の決定方法及び名簿を報告
- ・第 1 期開講までのスケジュールの報告
- ・第 2 期生以降募集時の課題⇒周知方法、告知スケジュール、受講可否連絡の文面等

次 回 会 議 日 程 : 未定

資料 44

■ コアプロ 地域リハビリテーション学コース検討部会

■ 平成 27 年度 第 5 回議事録(案)

- 日 時 : 2015 年 11 月 19 日(木) 09:30~10:30
- 場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
- 出席者(敬称略) : 平岡、稲富、日垣、樋口、岩田、椿、牛嶋 (記録)
- 議 題 : 1. アンケート結果報告
2. 第 1 期生受講状況報告
3. 後期撮影講師依頼状況確認
4. スクーリングについて
5. 第 2 期 (平成 28 年度春期生) 募集について
6. レポート課題案について
- 資 料 : 1. 臨床実習指導者に向けた事業説明会でのアンケート調査
2. 講師依頼進捗
3. コースプログラム
4. スクーリング日程表
5. 大学等における履修証明制度に関する留意事項について 別添 2
- 決 定 事 項 : 1. 第 2 期 (平成 28 年度春期生) の受講環境を拡充し、PC での受講を可能とすることとした。
2. レポート課題案について、素案を改訂した。
3. 第 1 期 (平成 27 年度秋期生) の成績評価は学内教員が行うこととし、将来的には本コース修了者をピアレビューアールとすることを検討することとした。

【 審 議 事 項 】

1. 後期撮影講師依頼状況確認

- ・講師との連絡調整について、担当教員及び事務局より各進捗状況を報告 (資料 2、3)
- ・講義「社会福祉行政のあり方」については、関川講師に社会福祉行政の基礎について 1 コマをご担当いただく。後の 2 コマについては専門家を探す予定。
- ・講座【訪問リハにおけるリスクマネジメント】のスクーリング (平成 28 年 2 月 27 日開催) で講師未定の演習については、医療系ケアマネージャー 1 人及び福祉系ケアマネージャー 1 人の招聘を検討中。年内に内容及び人選の目処をつける (担当: 樋口)

2. スクーリング開催予定 (資料 4)

H28 年 2 月 27 日 (土) 第 1 期スクーリング①

H28 年 4 月 6 日 (水) 第 2 期開講式 *併せて 1 講義開催を検討⇒高畑講師分?

H28 年 9 月 17 日 (土) 第 1 期スクーリング②兼修了式、第 2 期スクーリング①

H28 年 10 月 1 日 (土) 第 2 期講演、第 3 期開講式兼講演 *一部 PT・OT も聴講可の予定

*開催場所: 全て I-site なんば (2 期生以降、基本的に羽曳野キャンパスへは来校しない)

3. 第 2 期 (平成 28 年度春期生) 募集について

- ・募集定員: 40 人
- ・受講環境を拡充し、受講者各自の PC での受講を可能とする (第 3 期以降も同様の予定)

4. レポート課題・成績評価について

(1) 課題案

- ・第 1 期上半期: 4 講座についての案を精査、改訂 (資料 3、5)

(2) 提出方法

- ・紙媒体で行うか、デジタルデータで行うかの検討が必要
- ・第1期上半期：4講座についての課題提出を予定

(3) 成績評価

- ・第1期：成績評価は学内教員が行う
- ・第2期以降：第1期の結果を受け、採点基準、評価基準を検討
- ・将来的には、本コースの修了者をピアレビュアー（非常勤任用）とすることを検討

【報告事項】

1. アンケート結果報告

- ・第1期（平成27年度秋期生）受講者を対象に行ったアンケート調査について、とりまとめた結果を報告（資料1）

2. 第1期生受講状況報告

- ・e-learning 講義の受講について、通信トラブルに関する報告・問合せがあった（2件）

<ケース①>

内容：iPad にイヤホンを挿して講義動画を視聴していたところ、講義終了前にイヤホンを抜いたら動画が止まってしまう、その後再生できなくなった。

対応：iPad は動画や音楽の再生中にイヤホンを抜くと再生が止まる仕様であること、初回視聴時は途中で再生を止めることができないため本現象が起こったのではないかということ、2回目以降の再生では同様の事象が発生しても視聴再開できると思われることを伝え、その後問題なく視聴できているとの報告を受けた。

<ケース②>

内容：講義動画の初回再生開始数分後に動画が止まってしまう、その後再生できなくなる現象が頻発している。その結果、一ヶ月辺りのモバイルデータ通信の上限を超過してしまっている模様で、視聴制限がかかり動画視聴できない状態である。

対応：電話にて詳細を聞き取り設定状況を確認したが、特に通信量が超過するような設定は見当たらなかったため、暫定措置としてiPad 本体に何らかの原因があると仮定し、iPad 本体を交換することとした。開講式で貸与したiPad を返送してもらい、現在学内待機中のiPad にSIM カードを入れ替えて送付する手続き中。通信業者へ問合せたところ、本ケースでは講義動画の視聴は主に通勤途上の電車内で行っているとのことなので、移動中の通信に伴い基地局の切り替えが頻発していることが容量超過の一因かもしれないが、はっきりとした原因は不明との回答。

次回会議日程：未定

資料 45

■ コアプロ 学士教育プログラム検討部会

■ 平成 27 年度 第 1 回議事録

日 時 : 2015 年 4 月 10 日 (金) 9:40~10:35
場 所 : D509
出席者(敬称略) : 日垣、大西、内藤、米津、片岡、牛嶋 (記録)
欠席者(敬称略) : なし
議 題 : 1. 本年度のスケジュール・作業事項確認
決 定 事 項 : 1. 非常勤任用予定講師へ来学依頼を行い、講師の都合に合わせて随時授業内容の計画について情報交換の場を設けることとした。

【 審 議 事 項 】

1. 平成 27 年度学士教育プログラム スケジュール

- (1) 非常勤講師 (以下、講師) 依頼の推進
- (2) 実習環境の整備の推進
- (3) 受講評価システムの確立の推進

2. 動画コンテンツ

- ・作成目的: 学生の事前・事後学習用
- ・作成上の留意点: 講師が授業で取り扱い易い内容とする
- ・本年度に行う作業
 - (1) フィジコ動画: ①ナレーション録音 ②テロップ作成
山下講師動画: ①文字起こし (完了後、講師に確認依頼) ②ナレーション録音③テロップ作成
 - (2) フィジコの動作確認: 授業における「使用箇所」「使用目的」「使用方法」
⇒シラバスの内容に沿って検討 (講師と情報交換した上で検討を行う)

3. 授業内容・講師任用

- ・講師に具体的な授業内容の予定を確認
- ・TA5 人の配置の検討
- ・非常勤任用⇒教務委員会に提出 (5 月を目標に)

4. 評価指標

- ・5~8 月: 評価システムの開発
- ・到達度評価: ①授業 ②動画コンテンツ
- ・PT と OT で実習時間数が異なるため、到達度に差異が生じる問題点
- ・学内教員の中から成績評定者が必要

【 報 告 事 項 】

1. 平成 27 年度新体制

部会名 旧) 学士課程教育プログラム検討部会 新) 学士教育プログラム検討部会
部会員 転出) 西川 (智) 転入) 大西、内藤 (評価担当)

次回会議日程 : 未定 場 所 : D508
次回までの課題 : 非常勤任用予定講師への事務手続き書類の提出の依頼

資料 46

■ コアプロ 学士教育プログラム検討部会

■ 平成 27 年度 第 2 回議事録

日 時 : 2015 年 5 月 26 日 (火) 10:40~11:40
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 日垣、大西、内藤、米津、片岡、牛嶋 (記録)
議 題 : 1. 撮影済み動画コンテンツへの追加作業
2. 実習環境の整備
3. 授業内容
資 料 : 1. 実習室図面 (電源配置)
決 定 事 項 : 1. 実習室ベッド数検討のため、ワーキングを実施することとした。
2. 講師へ授業内容のヒアリングを行い、本部会が提示する書式に則って提出していただくこととした。

【 審 議 事 項 】

1. 撮影済み動画コンテンツへの追加作業

■ ナレーションの挿入

◎ 山下講師の動画⇒山下講師のナレーション (音声) を入れる

◎ フィジコの動画⇒本学でシナリオを作成し、ナレーション (音声) 担当人物も選定

- ・録音時期の検討が必要 (学生の減る夏季休暇中 又は 蟬の声の減る秋)
- ・業者とは連絡済み (録音日として 1 日来学可)

2. 実習環境の整備

■ ベッドの数・配置

◎ 山下講師案 8 台、藤堂講師案 12 台

・実技を行うスペースおよびベッド間の距離等を考慮した時に、学習環境が整う最適なベッド数は？
⇒本部会でワーキングを実施し、決定する

■ マットレスの違い

- ・柔らかさの異なるマットレス 3 枚⇒講師が授業で使用するか確認し、全ベッドでマットレスを統一する必要があるれば追加購入を検討する

3. 授業内容

■ 授業内容の把握 (目的: 各講師間の授業内容に重複がないかの確認)

◎ 各講師へのヒアリング (担当 藤堂先生: 米津、小林先生・山下先生: 日垣)

- ・授業内容の流れを記入する書式を作成⇒各講師へ提示⇒本部会でまとめる (6 月中)
書式 (A4 半頁程度):

大項目 (①~⑤より各講師担当分抜粋) — 下位項目 (小見出し) — 小見出しの説明 (3 行程度)

【 報 告 事 項 】

1. 講師との授業内容調整: 小林講師 5 月 29 日、山下講師 6 月 9 日
2. ベッドの追加購入: 本年度はベッド本体のみ購入し、ベッド柵は予算の都合上購入しない

次 回 会 議 日 程 : 6 月 16 日 (火) 14:35~ (1 時間程度) 場 所 : D508

次 回 議 題 : 1. 講師へのヒアリング結果から、授業の流れを決定
2. 授業で使用する物品の確定 3. 授業日程の検討

資料 47

■ コアプロ 学士教育プログラム検討部会

■ 平成 27 年度 第 3 回議事録

- 日 時 : 2015 年 6 月 16 日 (火) 14:35~15:15
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 日垣、大西、内藤、米津、片岡、牛嶋 (記録)
議 題 : 1. 実習環境の整備および TA 配置、評価について
資 料 : 1. (0616_資料 1) 追加購入予定物品
決 定 事 項 : 1. 実技グループ数およびベッドの台数を 10 に決定した。
2. 次回会議までに、評価指標の素案を作成することとした。

【 審 議 事 項 】

1. 実習環境の整備

■実技を行う学生の単位 : 10 グループ

- ・ベッドは 10 台配置<決定>⇒現在学内に 10 台あるので、3 台を追加購入
- ・車椅子、ホイスト等⇒レンタル可能 (会計に確認済)
※事業終了後に予算が確保不可の場合も考慮し、購入かレンタルかを検討する
- ・ADL 室内の和室のホイストは移動不可 ベッドのみ授業時に移動する

■追加購入物品、備品 (資料 1)

- ・およその調整終了 業者に見積を依頼する (比較見積書が必要か要確認)

2. TA について

■各講師が必要とする TA の人数の確認

- ・藤堂講師 : 不明のため、確認 (担当 : 米津)
- ・小林講師 : 不明のため、確認 (担当 : 日垣)
- ・山下講師 : 5 人希望

■事前打ち合わせ

- ・授業内容についての打ち合わせで TA に人件費を支出可能か、確認 (担当 : 事務局)

3. 評価

■評価指標の素案の作成

- ・評価部会員の内藤委員が中心となり検討
- ・授業開始前後における知識・意欲と行動の変化を問う

4. 授業科目の概要について

■カリキュラム改正にあたっての授業科目の概要の追記

- ・変更があるわけではないが、臨床実習 IV の中で選択科目として希望者が地域・在宅リハについて学んでいると追記すれば良いのではないかと

5. 今後の長期的な検討課題

■実習環境の展開 : 補助事業期間終了後を見据え、産学連携を視野に入れる

【 報 告 事 項 】

1. 本年度の授業日程の決定

- 1 回目 : 10 月 5 日 (藤堂講師)
- 2 回目 : 10 月 26 日、3 回目 : 11 月 9 日 (小林講師)

4回目：11月16日、5回目：11月30日（山下講師）

次回会議日程：7月14日（火）10:40～（1時間程度） 場所：D508
次回議題：評価の素案に基づき、評価方法の検討を行う。

■ コアプロ 学士教育プログラム検討部会

■ 平成 27 年度 第 4 回議事録

- 日 時 : 2015 年 7 月 14 日 (火) 10:40~11:45
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 日垣、大西、内藤、米津、片岡、牛嶋 (記録)
議 題 : 1. 学士教育プログラムの評価方法の検討
資 料 : 1. コアプロ学士課程評価部会会議資料
決 定 事 項 : 1. 評価指標案を作成するため、委員による小グループを構成した。
2. 講師に授業テーマに対する行動目標を確認し、その内容に沿って評価指標案を作成することとした。

【 審 議 事 項 】

1. 事務局報告、確認

(1) 授業日変更・TA 人件費について

「接遇とリスクマネジメント」(藤堂講師)の授業日変更: 10 月 5 日 (月) → 12 月 7 日 (月)

*授業日変更に伴い、TA との事前打ち合わせ日程も 9 月中→後期以降に変更

*山下講師との事前打ち合わせ日時調整を進める (担当: 日垣)

・TA 人件費は、申請している一人 15 時間以内で支払う

(2) 教材について

・教科書使用の有無の確認

藤堂講師: 必要 (確認済)、山下講師・小林講師: 要確認 (担当: 事務局)

→確認後、学内の神陵文庫に注文 (学生用 52 冊+教員用 1 冊、事務局用 1 冊)

(3) 購入備品・物品について

・業者から見積もりを取得済

・車椅子はレンタル (リクライニング型 5 台、アームレスト取り外し型 2 台): 11 月~

2. 評価指標の検討 (資料 1)

(1) 評価指標案の作成手順

・授業テーマに対する行動目標を各講師に確認

→評価指標を作成し、事業統括部会または企画調整会議において確認

・評価項目 3 種について評価視点が異なるため、担当 2 名ずつの小グループ内で詳細検討する

→定量的なもの: ①大西・内藤 ②内藤・片岡、定性的なもの: 内藤・米津

*授業の中身の低位項目を設定 *成績評価は、基本的にレポートを想定

(2) 評価指標案の内容

・最終的に学生にアンケートを取る→プログラムの課題、改善点の洗い出し

・講義ごとにオスキーのグレーディングのようなものを作成? →選択肢を多めに

・3、4 年生に対して実施→初講日 (コースオリエンテーション時) に第 1 弾

・各項目につき、①実技的なもの ②知識的なもの の両方に対してアンケートを取る

・GSES、S-H 式レジリエンス検査→検査用紙を購入して検討 (購入担当: 事務局)

次 回 会 議 日 程 : 8 月 25 日 (火) 10:00~ 1 時間程度 場 所 : D508

次 回 ま だ の 課 題 : 授業テーマに対する行動目標を各講師に問い合わせ、結果を部会委員に連絡する (担当: 事務局)

資料 49

■ コアプロ 第5回学士教育プログラム検討部会

■ 平成27年度 議事録

- 日 時 : 2015年8月25日(火) 10:00~11:30
場 所 : D508(コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 日垣、米津、片岡、内藤、大西、牛嶋、蕨野(記録)
欠席者(敬称略) : なし
議 題 : 1. 『在宅リハビリテーション論』の評価方法
2. H棟改修後の物品移動の確認など
決 定 事 項 : 1. 学生の自己評価受講前後の知識・理解度の比較を行う。
確 認 事 項 : 1. H棟改修後、10月5日に行われるPTの授業でどの物品の準備が必要か確認する。

【 審 議 事 項 】

1. 『在宅リハビリテーション論』の評価方法について、確認・検討した。
 - (1) 評価用紙について
 - ・受講後にまとめて受講前後の自己評価を行う。
 - ・10段階評価で、左端に『全く理解できなかった』右端に『十分に理解できた』中央の5と6の間に『理解できた』を記載し、受講前の状態を「○」受講後の状態を「□」で記載してもらう。
 - ・4回生向けのアンケートは在宅リハ、訪問リハを経験した人を対象に行い、『在宅リハビリテーション論』を受講した群と受講していない群での比較に使用する。
 - ・【接遇・リスクマネジメント】【家族支援】【自立支援】を大項目とする。
 - ・学内教員が講師の授業時間で比重を決めて、合計点数を出す。
小林講師、山下講師→各40点 藤堂講師→20点
 - (2) その他
 - ・授業風景を写真に残して、パンフレットなど宣伝に使用できるようにする。
2. H棟改修後の物品移動の確認など
 - ・部屋間で備品の移動がある場合は総務G会計へ連絡が必要。
 - ・10月5日から別の授業でH棟の使用予定あり。

■今後のスケジュール

- 【評価用紙修正後確認】平成27年8月28日(金)10:00-G棟会議室にて
【第6回学士教育プログラム検討部会】:未定

資料 50

■ コアプロ 第6回学士教育プログラム検討部会

■ 平成27年度 議事録

- 日 時 : 2015年10月1日(水) 9:30~10:20
場 所 : G509
出席者(敬称略) : 日垣、米津、内藤、大西、蕨野(記録)
欠席者(敬称略) : 片岡
議 題 : 1. 『在宅リハビリテーション論』の評価について
2. 『在宅リハビリテーション論』の授業当日の流れについて
3. H棟地域実習室の物品移動・配置について
資 料 : 別添
決 定 事 項 : 1. 再来週のどこかで最終評価用紙の検討を行う。
2. 3・4回生へのアンケートは受講前後(3回生)、地域実習前後(4回生PT)、長期実習前後(4回生OT)で実施する。
3. 10月16日までに学内での物品移動を行う。
確 認 事 項 : 1. 再来週の部会の日程調整。

- 『在宅リハビリテーション論』の評価について
 - ・先日の企画調整会議で出た意見を参考に、修正し来週中に部会メンバーへメールで送信する。(担当:片岡)
 - ・3回生と比較するため、4回生にも同様のアンケートを実施する。
実施するタイミングは以下の通り。
◎3回生…『在宅リハビリテーション論』受講前後。
◎4回生(PT)…地域実習経験前後。
◎4回生(OT)…長期実習経験前後。(長期実習で地域実習を経験する人のみ対象とする。)
- 『在宅リハビリテーション論』の授業当日の流れについて
 - ・学生は9:30にH棟へ集合してもらい、評価について説明する。(担当:内藤)
 - ・自己評価用紙を各講師初回の授業で配布し、各講師の最終の授業日に回収する。
 - ・外部講師の対応、当日使用するものを再度確認する。(担当:日垣)
- H棟地域実習室の物品移動・配置について
 - ・10月16日までに学内の物品を移動させる。
 - ・理III室の車椅子は授業で使用するときのみ移動させる。

■今後のスケジュール

【第7回学士教育プログラム検討部会】:10月12日の週のどこか。(場所:未定)

資料 51

■ コアプロ 第7回学士教育プログラム検討部会

■ 平成 27 年度 議事録

- 日 時 : 2015 年 10 月 14 日 (水) 10:00~11:10
場 所 : D508
出席者(敬称略) : 日垣、米津、内藤、大西、片岡、蕨野 (記録)
議 題 : 1. 『在宅リハビリテーション論』の評価について
2. 『在宅リハビリテーション論』の授業について
3. 物品移動について
資 料 : 別添
決 定 事 項 : 1. 初回の授業開始前に評価の説明を行う。(担当:内藤)
2. 今年度は9台のベッドで行う。
確 認 事 項 : 1. 小林講師が初日授業に必要な物品を再度確認する。

【 審 議 事 項 】

- 『在宅リハビリテーション論』の評価について
 - ・3回生の評価用紙の回答項目の両端から3つめの目盛りに「あまりできなかった」「ほどほどにできた」の項目を追加する。(担当:片岡)
 - ・初回のみ15分早く学生に来てもらい、評価の説明を行う。(担当:内藤)
 - ・初日に評価基準を記載した紙を配布し、それを参考に各授業に出席してもらう。
 - ・最終回の授業でアンケートの配布、回収を行って欲しいことを教員から非常勤講師に事前に説明しておく。
 - ・評価用紙の集計は事務局で行う。
 - ・4回生(PT)への1回目のアンケートを10月16日に行う。
- 『在宅リハビリテーション論』の授業について
 - ・評価額実習室のベッドの移動が困難なため、今年度は9台で授業を行う。
 - ・PT・OT 合同の班を9つに事前に分ける。(6人×7班、5人×2班)
- 物品移動について
 - ・理Ⅲからホイストを移動する。
 - ・評価学実習室からマットレスとホイストを移動する。
 - ・授業に必要な物品を事前に担当教員から聴取し、準備を行う。(現在問い合わせ中。)

■今後のスケジュール

【第8回学士教育プログラム検討部会】: 日程、場所ともに未定。

資料 52

■ コアプロ 第8回学士教育プログラム検討部会

■ 平成27年度 議事録

- 日 時 : 2015年11月05日(木) 13:00~14:00
場 所 : D508(コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 日垣、内藤、片岡、蕨野(記録)
欠席者(敬称略) : 大西、米津
議 題 : 1. 評価用紙の内容について
2. 授業の準備について
3. 報告
資 料 : 1.(資料1)進捗状況の報告
決 定 事 項 : 1. 評価用紙は外部講師に講義に来ていただいた際に最終的に授業内容に沿っているか項目のチェックを行ってもらう。
2. 授業時間とは別にアンケート回答時間を設け、学内教員が配布、除外する項目があれば説明を加える。
3. 授業でプロジェクターを使用する際、PCはOT、スピーカーは日垣部会長のものを使用する。
確 認 事 項 : 1. PCにDVDを入れてモニターに映すことができるかを10月26日までに確認する。

【 審 議 事 項 】

1. 評価用紙の内容について

事前に挙げていただいた行動目標の中に、授業で実践していないこともあったため、学生へ配布前に再度項目を確認していただくこととなった。

2. 授業の準備について

今後の授業での必要物品について確認した。(資料1参照。)

山下講師の動画をモニターでも映しながら授業で使用できるか、再度確認が必要。

PCと繋いで使用できるのであれば、授業でモニターも使用することとなった。

3. 報告

プロジェクトの事業計画としてあげている現職者との学士課程についてのワークショップを3月16日に実施することを報告した。詳細は未定。

■ 今後のスケジュール

【第9回学士教育プログラム検討部会】: 未定

資料 53

■ コアプロ 第8回学士教育プログラム検討部会

■ 平成27年度 議事録

- 日 時 : 2016年1月13日(水) 10:30~12:00
場 所 : D508(コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 日垣、大西、内藤、米津、片岡、蕨野(記録)
議 題 : 1. 自己評価について
2. 来年度の課題と問題点
3. 来年度購入希望物品
4. アンケート集計について
資 料 : 1.(資料1)「在宅リハビリテーション論」報告
決 定 事 項 : 1. 来年度以降、授業開始時間を早めて、昼休憩前にアンケートを記入できる時間を設ける。
確 認 事 項 : 1. 来年度の授業内容・必要物品・TAの人数。

【 審 議 事 項 】

1. 評価について

- ・グループワークの時間内で自分は経験できていない等の理由で受講していても自己評価が低い学生がいた。
- ・受講し、実技を経験することに意味があるため、出席を考慮する。

2. 来年度の課題と問題点

- ・アンケートや評価用紙を配布する時間が昼休みの時間になってしまった。
→授業開始時間を9時からとして、外部講師の授業を9時15分~1.5コマ、その前後で用紙の配布、説明、記入時間を取り、昼休みに被らないようにする。
- ・座学の際に、床に直接座って受講する学生がいた。
→全員が椅子に座って受講できるように椅子を新しく購入する。
→スクリーンの見やすい配置に関して今回決定案はなく、来年度の課題となった。
- ・時間が足りず、あまり使用できなかった物品があった。
→授業内容・必要物品・TAの必要人数を外部講師と再検討する。(小林講師・山下講師→担当：日垣 藤堂講師→担当：米津)

3. 来年度購入希望物品

来年度も今年度同様ベッドは9台で実施することとなった。

以下購入希望物品の中で優先順位の高い物から記載。

- ・ホイス ト 1台
- ・丸椅子 24脚
- ・車椅子(ティルト、リクライニング) 5台レンタル
- ・車椅子(リアライズ) 2台レンタル
- ・介助グローブ(2枚一組) 9組
- ・体圧測定器(パームQ) 4台
- ・ポジショニングクッション(ブーメラン型) 9個
- ・スリングシートMサイズ 不足分

ただし、車椅子のレンタルに関しては、外部講師と授業内容・必要物品を再検討する。スリングシートMサイズも他のサイズで枚数は補えているため、優先順位は低い。

4. アンケート集計について

3 回生の受講前後評価と、4 回生の現状評価を 3 月頭までに行う。(担当：内藤)
受講前後の評価では、理解度・知識度の伸び率と最終の到達度の両方を記載する。

■今後のスケジュール

【第 10 回学士教育プログラム検討部会】：報告書作成（担当：日垣）とアンケート集計（担当：内藤）がある程度完成する 2 月中旬以降～下旬にかけて開催。詳しい日程調整は後日行う。

資料 54

■ コアプロ 第 10 回 学士教育プログラム検討部会

■ 平成 27 年度 議事録

- 日 時 : 2016 年 2 月 15 日 (月) 14 : 30 ~ 15 : 00
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
出席者(敬称略) : 日垣、大西、内藤、蕨野 (記録)
欠席者(敬称略) : 米津、片岡
議 題 : 1. ワークショップについて
2. 在宅リハビリテーション論について
3. 来年度 TA について
決 定 事 項 : 1. 来年度からも経時的に結果を追えるようにアンケート、自己評価表は実施していく。
確 認 事 項 : 1. TA (新規 2 名) の検討。

【 審 議 事 項 】

1. ワークショップについて

- ・バイザー会議へは 47 施設が参加予定。来週以降、回復期以降の病院と訪問系の施設に限定し、ワークショップへの参加を依頼して頂く。(担当：各 OT 窓口教員)
- ・当日は授業内容の説明と、それに対する意見交換を行う。

2. 在宅リハビリテーション論について

- ・来年度の成績評価、出欠確認に関しては検討・実施していく。
- ・今年度実施したアンケートや自己評価シートも経時的に結果を追っていくため、同様のものを実施する。

3. 来年度 TA について

- ・小林先生→TA 不要。
- ・山下先生→TA5 名。講義 (2 回) + 事前打ち合わせ (1 回) に参加できる人で要検討。
- ・藤堂先生→TA2 名。昨年度と同じ人であれば事前打ち合わせ不要。
- ・来年度から M1 が月曜日 2 コマから授業があるため、今年度 M1 (来年度 M2) の 3 名に継続して TA を依頼する。新規で 2 名、山下講師の TA (3 回出席) が可能な人を 4 月までに要検討。

■ 今後の予定

- ・報告書の修正版を 2 月 19 日までに事務局へ提出。

資料 55

■ コアプロ 学士教育プログラム

■ 平成 27 年度 教育プログラム検討会議事録

- 日 時 : 2015 年 6 月 9 日 (火) 13:00~15:00
場 所 : D508 (コア・プロジェクト事務局)
講 師 : 山下協子 先生
出席者(敬称略) : 日垣、米津、片岡、内藤、大西、牛嶋、蕨野 (記録)
議 題 : 1. 実習環境の配置・追加物品の確認
2. 授業内容の確認
3. 授業日の日程調整
資 料 : 1.(資料_1)各講師打ち合わせ内容
決 定 事 項 : 1. ベッド数を 10 台 (5 名/台) で授業を行う。
確 認 事 項 : 1. 小林講師の講義で使用する介助シートはノルディックートでも代用が可能か。(担当: 日垣)
2. ホイスト、車椅子はレンタルが可能か。

【 審 議 事 項 】

1. 実習環境の配置・追加物品の確認

- ・受講生 50 名に対してベッドを 10 台使用する。(3 台追加購入)
- ・各ベッドに 1 台ずつホイストを用意する。(3 台追加購入)
- ・各ベッドに 1 枚ずつスライディングシートを用意する。
→シートの種類が混在していても使用できるか確認が必要。

(山下講師: 代用可能、小林講師: 要確認。)

ホイストは沢山購入しても、年に数回しか授業で使わない、保管に場所を取る、型が古くなるなどの問題があるため、授業期間だけレンタル可能か確認が必要。

2. 授業内容の確認

小林講師の講義で、訪問でニードの高い 3 点 (呼吸、嚥下、胃瘻用 PEG) の紹介を行う。

呼吸: 吸引機 (学内に既存) を使用。チューブは消耗品として購入が必要。

嚥下: 業者を招いてデモを行う。(業者の手配は小林講師が行ってくださる。)

胃瘻: PEG の見本 (学内に既存) を使用。

■ 今後のスケジュール

【第 3 回学士教育プログラム】: 6 月 16 日 (火) 14:35-15:35

第 1 回 学習支援環境検討部会 議事録

会 議 日	2015/4/6 (月)	時 間	19:00~21:00	場 所	D509
出 席 者	淵岡、立山、野中 (敬称略)				
資 料	なし				

議事

<模擬遠隔授業トライアル>

- ・ 19:00~20:00 部屋の環境設定。中継設備準備。
- ・ 20:00~20:30 授業中継 (トライアル)
- ・ 20:30~21:00 iPad 整備・充電

BIGPAD を用いた模擬授業を実施。

音声や画像の鮮明度、BIGPAD の文字判別等をチェックした。

配信後、上記につき、遠隔会議システムを利用して受講者からの意見聴取を行った。

模擬授業参加者：14 人

以上。

第 2 回 学習支援環境検討部会 議事録

会 議 日	2015/4/9 (木)	時 間	18:15~20:00	場 所	D509
出 席 者	淵岡、立山、野中 (敬称略)				
資 料	なし				

議事

<模擬遠隔授業トライアル>

- ・ 18 : 15 ~ 19 : 00 部屋の環境設定。中継設備準備。
- ・ 19 : 00 ~ 19 : 30 授業中継 (トライアル)
- ・ 19 : 30 ~ 20 : 00 後片付け, iPad 整備・充電

動画配信を用いた模擬授業を実施。

音声や画像の鮮明度, BIGPAD の文字判別等をチェックした。

配信後, 上記につき, 遠隔会議システムを利用して受講者からの意見聴取を行った。

模擬授業参加者 : 14 人

以上。

第 3 回 学習支援環境検討部会 議事録

会 議 日	2015/4/10 (金)	時 間	18:15~20:00	場 所	D509
出 席 者	淵岡、立山、野中 (敬称略)				
資 料	なし				

議事

<模擬遠隔授業トライアル>

- ・ 18 : 15 ~ 19 : 00 部屋の環境設定。中継設備準備。
- ・ 19 : 00 ~ 19 : 30 授業中継 (トライアル)
- ・ 19 : 30 ~ 20 : 00 後片付け, iPad 整備・充電

動画配信を用いた模擬授業を実施。

音声や画像の鮮明度, 動画の文字判別のしやすさ等をチェックした。

配信後, 上記につき, 遠隔会議システムを利用して受講者からの意見聴取を行った。

模擬授業参加者 : 9 人

以上。

第 4 回 学習支援環境検討部会 議事録

会議日	2015/5/20 (水)	時間	17:15~19:00	場所	D509
出席者	淵岡、立山、野中 (敬称略)				
資料	アンケート結果				

議事

<模擬遠隔授業トライアルの結果について>

トライアル授業参加者および不参加者に対するアンケート結果を集計・分析した。

- ・ 授業時間の連絡を、貸与した iPad 宛に送信することにしていたため、iPad を起動しない方には連絡が行き届かなかった。iPad が故障することもあり得るので、連絡手段は複数準備しておく必要がある。
- ・ 授業の視聴に関しては、概ね良好であり、iPad の画質や解像度などについては十分使用に耐えうる品質であることがわかった。しかし、音量設定や画面調整など、iPad そのものの基本的操作について、より詳しく解説する必要がある。
- ・ リアルタイム授業では発言を求めたが、複数の受講者が同時に発言することは難しく、また、聞き取るのも困難である。ただし、授業に関する意見交換をする場は必要であり、電子掲示板の利用などを検討していく。

以上を踏まえ、遠隔授業は視聴時間の制約がないオンデマンド型を主とすることが望ましいこと、年に数回の対面授業（スクーリング）や科目ごとのフォーラム（電子掲示板）を利用し、自由に受講者間で意見交換ができる場を提供すること、開講時のオリエンテーションで iPad の使用方法について基本的な部分から丁寧に説明することなどを確認した。

以上。

資料 60

■ コアプロ 学習支援環境検討部会

■ 平成 27 年度 第 5 回議事録

日 時 : 2015 年 5 月 29 日 (金) 11:00~12:00
場 所 : D503
出席者(敬称略) : 淵岡部会長、立山、野中、牛嶋、蕨野 (記録)
欠席者(敬称略) : なし
議 題 : 院プロ用意見交換コーナーのデモンストレーション
資 料 : 別添 1 枚
決 定 事 項 : 学習支援システムをディスカッション用のツールとして使用する。

【 目 的 】

地域リハビリテーション学コースの受講生が受講生同士でディスカッションを行う場を設ける。

【 審 議 内 容 】

大阪府立大学のポータル内にある授業支援システム、または外部ツールの ChatWork を使用する。実際に使用してみて不都合な点などないか試す。

1. 学習支援システムを採用する。(ChatWork : 外部ツールで情報が漏れるかもしれない。科目ごとに分けることができない。)
2. 授業名を「地域リハビリテーション学コース」とし、講座ごとにフォーラムをつくる。その中でディスカッショントピックを追加してディスカッションを行う。
3. ディスカッショントピックは受講生が自由に追加することができる。
4. 担当の先生にもディスカッションメンバーに入っていただけか事前に確認しておき、了承が得られた先生はメンバーに追加しディスカッションの内容を見られるようにするが、原則は学生同士でディスカッションしてもらい、教員への質問・返信には利用しない。
5. ディスカッションは「返信をネスト表示する」に設定して表示する。
6. iPad を受講生に渡す時点では、学習支援システム内で更新があった場合すべて通知が来るように設定しておく。通知を止める設定変更は受講生の自由とする。
7. iPad 破損時の対応は規程を作成済み。基本的に受講生に弁償してもらう。

【 今 後 の 課 題 】

1. 更新ペースをどうするか。
ディスカッション内容をずっと残しておく、すでに受講が終わっている人の名前も残っておりややこしい、過去のディスカッション内容も見ることができると似たような疑問を持って新しいスレッドを立てにくいなどの理由で活発に使用されないのではないか。スレッドの更新ペースを決めて、定期的にスレッドを管理していくことで使いやすくなるのではないかという意見がでた。更新ペースの案は以下の通り。
案 1 : 2 年・2 年半・半期ごと、いずれかの区切りを決めてスレッドを消していく。
案 2 : フォーラム内の講座を「平成〇〇年度△△ (授業名)」と年度ごとにわけて、受講している年度のフォーラムを開くようにする。
2. 10 月 2 日の受講開始日に 1 日で e-Learning、iPad の使い方、ディスカッションの方法など説明する必要がある。
3. 10 月 2 日の説明会で使用する操作説明を書いた書類を作る。
4. ビデオ撮影時に、講師の先生にディスカッションメンバーに入っていただけか確認する。

5. マナボウ 9月～使用可 その前に使用方法のデモを行う。

次回会議日程 : 未定 場所 : 未定

次回までの課題 : 学習支援システムを使用していくに当たって不都合な点などないか、お試
しで使用する。

第 6 回 学習支援環境検討部会 議事録

会 議 日	2015/7/7 (火)	時 間	14:00～17:00	場 所	D509
出 席 者	淵岡、立山、野中 (敬称略)				
資 料	なし				

議事

<遠隔授業オンデマンド配信システムについて>

遠隔授業オンデマンド配信システム「マナボウ」の仕様を確認し、使用練習を行った。
動画を端末に保存できないストリーミング配信システムであり、コンテンツ漏洩に対して高いセキュリティが確保されており、また、受講者ごとに視聴履歴を細かく管理できる機能が秀逸であり、本事業における授業配信システムとして有用であることを確認した。

以上。

第 7 回 学習支援環境検討部会 議事録

会議日	2015/7/17 (金)	時間	16:30~19:00	場所	D503
出席者 (敬称略)	淵岡、立山、野中 以下、説明会のみ参加 牛嶋 (コアプロ事務局)、舩田 (大学事務局総務 G 会計担当) 内門 (ティーガイア)、堀口 (ティーガイア)				
資料	なし				

議事

<通信プラン説明会>

ティーガイアより、現在契約している OCN より安価なサービス (movinoline) の提案があり、担当者を招き、通信プランについて説明会を開催した。

(以後、委員のみで検討)

<通信プランについて>

通信品質については現行 (OCN) と同様、NTT DoCoMo の通信網を使用するため良好であり、価格は法人特別価格で安価となるため、9 月より movinoline で契約することを事業統括部会に上申することとした。

<授業コンテンツ配信システムについて>

オンデマンド授業配信システムとして導入を決めていた「マナボウ」に加え、本学の授業支援システムによる動画配信の利用を検討していたが、諸般の事情*により本学のネットワークサービスを利用できないことが決定的となり、「マナボウ」のみにより授業配信を行うこととなった。

注) 諸般の事情*: 授業支援システムは教職員及び正規の学生・大学院生向けに提供している情報システムサービスの一環であり、履修証明プログラム受講者の利用を想定していない。本事業で情報システムサービスを利用することは、種々の外部サービスとの契約 (使用条件) に抵触する恐れがあるため、現段階での導入は見送ることとした。今後、履修証明プログラム受講生に対し、正規学生と同様の情報サービスを提供するための条件を検討することを継続課題とした。

<科目ごとの意見交換機能について>

授業支援システムのフォーラム (電子掲示板) 機能を利用する予定であったが、無料の外部サービスの利用を検討することとし、「サイボウズ Live」と「ChatWork」の使用感を各委員が試用確認し、次回検討することとした。

以上。

第 8 回 学習支援環境検討部会 議事録

会 議 日	2015/8/8 (土)	時 間	13:30～15:00	場 所	D503
出 席 者	淵岡、立山、野中 (敬称略)				
資 料	なし				

議事

<科目ごとの意見交換機能について>

各委員が「サイボウズ Live」と「ChatWork」の使用感を報告した。
メンバー(受講生)管理,メンバー以外への秘匿性(セキュリティ),科目ごとの掲示板の設定,
投稿の通知機能などを総合的に考慮し,「サイボウズ Live」の優位性が高いと判断した。
開講に向け,「サイボウズ Live」への科目の設定,受講者向け説明書の作成を行うこととした。
合わせて,iPad 使用説明書,授業配信システム「マナボウ」使用説明書も作成することとした。
以上。

第 9 回 学習支援環境検討部会 議事録

会 議 日 2015/8/9 (日) 時 間 13:30～18:00 場 所 D503
出 席 者 淵岡、立山、野中
(敬称略)
資 料 e ラーニング クイックマニュアル, 貸与規定関連書類

議事

<e ラーニング クイックマニュアル等の作成>

第 1 期生の開講に向け、iPad の使用説明、授業配信システム「マナボウ」の使用説明、受講生間ディスカッション掲示板「サイボウズ Live」の使用説明を簡潔にまとめた、「総合リハビリテーション学」コース e ラーニング クイックマニュアルを作成した。

その他、タブレット機器貸与使用規程、借用書、iPad を紛失・破損した場合等の対応チャートを再度確認した。

<受講生ガイダンスについて>

10 月 2 日のスタートアップセミナー後に行う、受講生向けガイダンスにおいて、e ラーニング全般の説明を行うこととし、内容を検討し、役割分担を決定した。

以上。

第 10 回 学習支援環境検討部会 議事録

会 議 日	2015/10/5 (月)	時 間	17:30~18:00	場 所	H510
出 席 者	淵岡、立山、野中 (敬称略)				
資 料	なし				

議事

<今後の受講生対応について>

10月4日、受講生より、サイボウズ **Live** のプロフィール変更の可否や、アプリのダウンロードに関する問い合わせがあった。今後、受講に関する通信上の問題など、早急に対応すべき問題（問い合わせ）があった場合、部会を開いて対応を検討する時間的余裕がないことを確認した。

受講上のトラブル等に関する問い合わせは、部会長に対応を一任することとし、重大な案件については、必要に応じて部会長が企画調整会議に諮り問題解決に取り組むフローを作成した。

以上。

資料 66

■ コアプロ 第1回実践評価部会

■ 平成27年度 議事録

- 日 時 : 2016年2月12日(金) 10:40~12:15
場 所 : D508
出席者(敬称略) : 吉田部会長、西川(隆)、樋口、小栢、内藤、椿(記録)
欠席者(敬称略) : なし
議 題 : 1. 『外部評価委員会』について
2. 『在宅リハビリテーション論』の評価について
3. 『評価結果報告書』について
資 料 : 別添
決 定 事 項 : 1. 2016年4月2日、外部評価委員会をI-site なんばにて開催する。
2. 『在宅リハビリテーション論』の授業内容を7割以上の学生が理解する(目標)を達成した。
3. 評価結果報告書の評価項目のうち、すでに終了している事項に対しては、削除ではなく「評価終了」と記載し、評価項目としては残しておく。
確 認 事 項 : 1. 学士の『在宅リハビリテーション論』の受講後アンケートが未提出の学生に対し、早急にアンケートの提出をお願いする。

1. 『外部評価委員会』について

- ・2016年4月2日(土)にI-site なんばにて開催する。
- ・外部評価委員は去年に引き続き、阿部和夫氏、黒田研二氏、小松龍史氏、水田一郎氏、山口淳氏、臼井キミカ氏に依頼した。
このうち臼井キミカ氏のみ欠席。
- ・臼井キミカ氏には、報告書を送付し、後日評価結果報告書を郵送していただく予定。

2. 『在宅リハビリテーション論』の評価について

- ・3年生には『地域リハビリテーション論』の各担当講師の講義修了後に自己評価をしてもらった。
→目標としていた『7割以上の学生が授業の内容を理解する』を達成した。

- ・『在宅リハビリテーション論』の受講前後で、学生(3年生)に対しアンケートを実施した。また『在宅リハビリテーション論』を受講していない現4年生と、『在宅リハビリテーション論』を受講した3年生が4年生になった場合を比較するため、現4年生にも同様のアンケートを実施した(PT4年生は実習前後、OT4年生については実習が終了していたため実習後のみ)。

*来年は、地域系の実習に行くOTの学生に、実習前後でアンケートをとることとした。

→集計した結果、受講前に対し受講後は全体的に中央値が上昇した。中央値が変わらなかったものについても最小値が上昇し、全体的に改善が見られた。

*アンケートを提出していない学生がいたため、至急アンケートの提出をもらい、再集計する。

3. 『評価結果報告書』について

- ・今年度から本格的にプロジェクトが始動したため、基本的には去年の評価票を参考に評価票を作成した。
- ・評価項目 E の『事業の成果』に、「学士課程教育プログラムの達成度」と「現職者教育プログラムの達成度」の 2 項目を追加した。
- ・評価項目 A の『事業の目的』については、再評価の必要はないとし、評価欄に『評価終了』と記載することにした(評価項目としては削除せず、残しておく)。
- ・評価項目 A の『事業の目的』のうち、A-3「事業目的の周知」については、評価項目 B の『実施体制』の欄に移動させる。

■今後のスケジュール

【第 2 回実践評価部会】：日程、場所ともに未定。今年度の開催はなし。

2. 広報資料



大阪府立大学
OSAKA PREFECTURE UNIVERSITY

検索

文部科学省 地域福祉型実践型地域人材養成プログラム
コア・プロジェクト -在宅ケアを支えるリハビリ専門職の育成-
 医療と在宅ケアの連携を基盤とする人材育成プログラム
 PRO PROJECT for COMMUNITY REHABILITATION SPECIALIST

トップ
TOP
ご挨拶
GREETINGS
事業概要
OUTLINE
学士教育プログラム
PROGRAM
実習生(実習指導者)教育プログラム
PROGRAM
活動報告
REPORT



在宅ケアを支えるリハビリ専門職を育成します

総合リハビリテーション学専攻科



文部科学省

日本地域理学療法学会

facebook ページ

[Facebook.com/core.pro.ospu](https://www.facebook.com/core.pro.ospu)

イベント予定

地域リハビリテーション学コース第1期生スクーリング

日時 2016年2月27日(水)
9:00 - 17:00

会場 大阪府立大学 1-102
514-8501

対象 地域リハビリテーション学コース 第1期生
(平成27年度修習生)

※記載時間は予定のため、変更になる可能性があります。

Topics

◎ 「地域リハビリテーション学コース」第2期(平成28年度修習生)募集を終了しました

地域福祉学専攻科、作業療法士を対象とした養成プログラム「地域リハビリテーション学コース」の第2期(28年度修習生)募集は、1月23日(金)をもちまして終了いたしました。多数のお申し込みをいただきまして、誠にありがとうございます。

[詳しくはこちら](#)

◎ 平成27年度「在宅リハビリテーション講座」の講義が行われました

地域福祉学専攻科にて、作業療法士専攻2級生を対象とする「在宅リハビリテーション講座」を講義形式で開催しました。講義には、在宅ケアの現場を熟知される先生方をお迎えし、在宅現場を想定した介護ベッドを活用した実践下でグループ実習。

[詳しくはこちら](#)

◎ 「地域リハビリテーション学コース」第2期募集を開始しました

地域福祉学専攻科、作業療法士を対象とした養成プログラム「地域リハビリテーション学コース」の第2期(平成28年度修習生)募集を開始いたしました。詳細は、下記リンクから募集要項ページをご覧ください。「地域リ-

[詳しくはこちら](#)

◎ 第74回 日本公衆衛生学会 会へ参加しました

11月4日～6日に長崎アジックスホールにて開催された「第74回日本公衆衛生学会」に参加。

[詳しくはこちら](#)

◎ 長崎大学を訪問しました

長崎大学、保健学実践教育研究センターを訪問させていただきました。11月5日10時～

[詳しくはこちら](#)

◎ 「地域リハビリテーション学コース」が開講しました。

10月2日のスタートアップ・セミナーをもちまして「地域リハビリテーション学コース」

[詳しくはこちら](#)



文部科学省 課題解決型高度人材養成プログラム
コア・プロジェクト・在宅ケアを支えるリハビリ専門職の育成
 医療と在宅ケアの連携を推進する人材育成プログラム
 FOCUS PROJECT for COMMUNITY REHABILITATION SPECIALIST

サイトの検索

- トップ
TOP
- ご挨拶
GREETINGS
- 事業概要
OUTLINE
- 学士教育プログラ
ム
PROGRAM
- 研修者（高専研修
生）教育プログラ
ム
PROGRAM
- 活動報告
REPORT

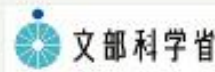


コア・プロジェクト Project for
Community Reha. Special.
 在宅ケアを支えるリハビリ専門職の育成

総合リハビリテーション学研究科

Topics

1 - 5 / 5



日本地域看護学会

Facebook ページ
facebook.com/core.pro.opu

今後の予定

地域リハビリテーション学
コース第3期生募集予定
時期 2018年6月頃(予定)

地域リハビリテーション学
コース スクーリング・終了
式

- 対象 - スクーリング
- 第1期生（平成27年度
修了生）
 - 第2期生（平成28年度
修了生）
 - ～終了式～
 - 第1期生（平成27年度
修了生）
- 日時 2018年9月17日(土)
9:00～17:00(予定)

① 平成27年度教育プログラム
横断のためのワークショップを
開催しました

平成28年3月16日、大阪府立大学 羽
生野キャンパス(L403室)において、
「平成27年度教育プログラム横断の
ためのワークショップ」を開催しまし
た。平成27年度に本授業分の研修が
終了した「在宅リハビリテーション
論」(対象：学一)

[続きを読む](#)

① 「地域リハビリテーショ
ン学コース」第1回スクーリ
ングを実施しました

平成28年2月27日に大阪府立大学・
お茶の水キャンパスにて、現職の理学療法士・
作業療法士を対象とした「地域リハ
ビリテーション学コース」の第1期
(平成27年度修了生)向け第1回ス
クーリングを実施しました。日時：
学一

[続きを読む](#)

① 「地域リハビリテーショ
ン学コース」第2期(平成28年
度修了生)募集を終了しました

現職の理学療法士・作業療法士を対
象とした募集要項プログラム「地域
リハビリテーション学コース」の第2
期(28年度修了生)募集は、2月8日
(金)をもって終了いたしました。
多数のお申し込みをいただきま
して、誠にありがとうございました。

[続きを読む](#)

① 平成27年度「在宅リハビ
リテーション論」の講義が行われ
ました

理学療法士専攻3回生、作業療法士専
攻3回生を対象とする「在宅リハビ
リテーション論」を演習形式で開講し
ました。講義には、在宅ケアの現場
を訪問される先生方をお招きし、な
んも現場を想定した介護ベッドを応
じた環境下でグループ演習～

[続きを読む](#)

① 「地域リハビリテーショ
ン学コース」第2期募集を開始
しました

現職の理学療法士・作業療法士を対
象とした募集要項プログラム「地域
リハビリテーション学コース」の第2
期(平成28年度修了生)募集を開始
いたしました。詳細は、下記リン
クから募集要項ページをご覧ください。
「地域リ～

[続きを読む](#)



① 第74回 日本公衆衛生学会
会へ参加しました

11月4日～6日に浜海ブリックホール
にて開催された「第74回日本公衆
衛生学会総会」



ホーム > ご挨拶

総合リハビリテーション学研究科



日本地域理学療法学会

facebook ページ
facebook.com/core.pro.opu

今後の予定

地域リハビリテーション学
コース第3期生募集予定
時期 2016年6月頃(予定)

地域リハビリテーション学
コース スクーリング・修了
式

対象 ・スクーリング
第1期生(平成27年度
秋期生)
第2期生(平成28年度
春期生)
・修了式
第1期生(平成27年度
秋期生)
日時 2016年9月17日(土)
9:00~17:00(予定)
会場 大阪府立大学 I-siteな
んぼ

※詳細が決まり次第、随時更
新いたします。

ご挨拶

文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」
事業名：在宅ケアを支えるリハビリ専門職の育成
- 医療と在宅ケアの連携を推進する人材養成プログラム -

大阪府立大学学長
辻 洋

「在宅ケアを支えるリハビリ専門職の育成」事業は、平成26年度より5カ年計画で開始された文部科学省の課題解決型高度医療人材養成プログラムにおいて、大阪府立大学が選定された事業であり、2年目を迎えました。健康長寿社会の実現や国民からの多様な医療ニーズに対応していくためには、大学を通じて現在課題とされている分野の人材養成強化が求められています。現在、地域包括ケアシステムの構築に向けて在宅医療・介護が推進される中、従来のような機能回復を中心とした継続的リハビリテーションに加え、活動や参加に焦点をあてた自立支援に資する取り組みが必要とされています。多職種連携によるチーム医療においては、理学療法士、作業療法士等の更なる活躍が期待されており、学生・医療人の実践力の修得・強化が求められています。



これらを踏まえた本学の取組みは、患者と医療情報が病院と在宅との間を円滑に循環するための、ネットワーク構築を促進できる人材を育成する教育プログラムです。大阪府立大学大学院 総合リハビリテーション学研究科には理学療法士・作業療法士を対象とした「地域リハビリテーション学コース」を平成27年度後期より開講し、学士課程の学生向けには総合リハビリテーション学類にて「在宅リハビリテーション講義・実習」を実施します。リハビリテーション専門職の人材養成が主ではありませんが、社会人教育と地域社会に対して一層の貢献を果たすために、大学内全体で取り組む運営体制を整えました。加えて本事業の推進には、大阪府内の行政機関や医療施設、日本理学療法士協会、日本作業療法士協会等の職能団体との連携強化が必須です。住み慣れた地域や自宅での生活のための医療を提供できる人材育成に努めてまいりますので、どうぞご支援のほど宜しくお願いいたします。



■平成27年度運営体制

新年度にあたって事業運営体制の見直しを行い、下記のとおり平成27年度運営体制を組織しました。

- 事業統括部会（企画調整会議）……事業全体の意思決定、スケジュール管理
- 学士教育プログラム検討部会……学士課程の学生を対象とした授業の構築、実施
- 地域リハビリテーション学コース検討部会……現職者を対象とした履修証明プログラムの構築、実施
- 学習支援環境検討部会……履修証明プログラムで配信する授業環境の整備
- 実践評価部会……学内、学外における事業の評価
- 大阪モデル検討部会……本事業の目標である『大阪モデル（仮）』構築のための検討

平成27年度運営体制
事業推進代表者 学長 辻 洋

表 平成27年度 総合リハビリテーション学研究科運営体制

委員会名	メンバー（※印は責任者）
事業統括部会 （企画調整会議）	高橋浩一（研究科長）* 奥田玲緒（学域長） 樋口由美（事業統括リーダー） 吉田幸恵（副会長） 西川智子（事業統括副リーダー） 日根一月（副会長） 酒田 聡（副会長）
地域リハビリテーション学 コース検討部会	樋口由美*、平岡浩一、藤室寛之、早稲一秀、野田 晃、田 中宏明、小松善也
学士教育プログラム 検討部会	日根一月*、大西久男、内藤泰男、米塚 浩、片岡江敷
学習支援環境検討部会	酒田 聡*、立山謙素、野中祐士
実践評価部会	吉田幸恵*、西川 玲、内藤泰男、小松善也
大阪モデル検討部会	樋口由美*、西川智子
事務局（専任）	牛嶋沙織、廣野千裕、樽 由菜

学内連携組織

羽曳野キャンパス 事務担当 荒井大作
課長補佐 原田 尚
中百舌鳥キャンパス 総合企画課 課長 船野智加枝
教育推進課 課長 大久保正明
課長補佐 石田祥造

<クリックで拡大します>

学士教育プログラム

本事業で実施する「学士教育プログラム」は、講義と実習から構成されます。

本プログラムを受講することによって在宅ケアの対象者の障害像および生活を知り、在宅リハビリテーションにおける理学療法士・作業療法士の役割を理解することが可能です。

在宅支援に関わる理学療法士・作業療法士の臨床実習指導者を講師とし、在宅リハビリテーションにおける技術、リスクマネジメント、および家族介護者の健康支援等について修得した後、実習を通じて実践的技術の修得と対象者の実像理解を促進します。

【プログラムの目的】

本プログラムの目的は、地域包括ケアシステムにおいて求められるニーズに対応できるよう、在宅ケアの対象者の障害像および生活を知り、在宅リハビリテーションにおける理学療法士・作業療法士の役割を遂行する人材を育成することにあります。

【プログラム（予定）】

I. 「在宅リハビリテーション論」 3年次生対象・1単位（15時間）・平成27年度開講

1. 拘縮予防と活動の容易さを目指したポジショニング
2. 呼吸器障害、嚥下障害、胃瘻造設を有する方への支援技術
3. 家族介護者への健康支援（1）
4. 家族介護者への健康支援（2）
5. 接遇とリスクマネジメント

II. 「在宅リハビリテーション実習」 4年次生対象・1単位（45時間）・平成28年度開講

1. 訪問リハビリテーション、通所施設（介護）、就労支援事業所、特別支援学校、在宅型有料老人ホーム等における同行実習の実施

「地域リハビリテーション学コース」募集要項

現職の理学療法士・作業療法士を対象とした履修証明プログラム「地域リハビリテーション学コース」の第2期（平成28年度春期生）募集は、平成28年1月8日をもちまして終了いたしました。
来期のご応募をお待ちしております。

募集期間：平成27年12月1日（火）～平成28年1月8日（金）【必着】
募集人数：40人

募集要項は、下記リンクからダウンロードしてご利用ください。（終了しました）

▶[地域リハビリテーション学コース 第2期（平成28年度春期生）募集要項（PDF）](#)

※募集要項のPDFファイル内から受講申請書をダウンロードできない場合は、下記のリンクから受講申請書をダウンロードしてください。（終了しました）

▶[受講申請書（Word）](#)

「地域リハビリテーション学コース」の開講予定は以下の通りです。

	受講期間
第1期（平成27年度秋期生）【募集終了】	平成27年10月～平成28年9月
第2期（平成28年度春期生）【募集終了】	平成28年4月～平成29年3月
第3期（平成28年度秋期生）	平成28年10月～平成29年9月
※第4期は平成29年4月に開講する予定です。以降の予定は追って掲載いたします。	



トップ TOP	ご挨拶 GREETINGS	事業概要 OUTLINE	学士教育プログラム PROGRAM	現職者【実習指導者】教育プログラム PROGRAM	活動報告 REPORT
------------	------------------	-----------------	----------------------	------------------------------	----------------

ホーム > Topics

総合リハビリテーション学研究科



日本地域理学療法学会

facebook ページ
facebook.com/core.pro.opu

今後の予定

地域リハビリテーション学
コース第3期生募集予定
時期 2016年6月頃(予定)

地域リハビリテーション学
コース スクーリング・修了
式

対象 ・スクーリング
第1期生(平成27年度
秋期生)
第2期生(平成28年度
春期生)
・修了式
第1期生(平成27年度
秋期生)

日時 2016年9月17日(土)

9:00~17:00(予定)

会場 大阪府立大学 I-siteな
んば

※詳細が決まり次第、随時更
新いたします。

Topics

topics

- 平成27年度教育プログラム構築のためのワークショップを開催しました 2016年3月29日 16:30
- 「地域リハビリテーション学コース」第1回スクーリングを実施しました 2016年3月3日 16:09
- 「地域リハビリテーション学コース」第2期(平成28年度春期生)募集を終了しました 2016年1月13日 16:10
- 平成27年度「在宅リハビリテーション論」の講義が行われました 2015年12月16日 11:31
- 「地域リハビリテーション学コース」第2期募集を開始しました 2015年12月1日 11:56
- 第74回 日本公衆衛生学会総会へ参加しました 2015年11月10日 14:23
- 長崎大学を訪問しました 2015年11月10日 11:54
- 「地域リハビリテーション学コース」が開講しました。 2015年10月7日 16:08
- 「地域リハビリテーション学コース」第1期(平成27年度秋期生)スタートアップ・セミナーを開催します 2015年8月20日 10:21
- 長崎大学と情報交換会を実施しました 2015年8月12日 17:11
- 「地域リハビリテーション学コース」第1期(平成27年度秋期生)募集を終了しました 2015年8月1日 00:00
- 「地域リハビリテーション学コース」の募集を開始しました 2015年7月10日 16:30
- 第50回日本理学療法学会大会に出展しました 2015年6月11日 12:28
- 長崎大学との意見交流会を開催しました 2015年5月1日 15:48
- 教育プログラム構築のためのワークショップを開催しました 2015年3月31日 21:44
- 臨床実習指導者に向けた事業説明会を開催しました 2015年3月31日 21:32
- 学内教員向けFDを開催しました 2015年3月31日 21:32
- 「キャリア教育との接続性」について記載しました 2015年3月31日 21:32
- パンフレットが完成しました 2015年3月2日 19:35
- 事業概要ご案内のポスターができました 2015年1月30日 16:03

前へ 1 2 次へ





総合リハビリテーション学研究科



日本地理学療法学会

facebook ページ
facebook.com/core.pro.opu

今後の予定

地域リハビリテーション学
コース第3期生募集予定
時期 2016年6月頃(予定)

地域リハビリテーション学
コース スクーリング・修了
式

対象 ・スクーリング
第1期生（平成27年度
秋期生）
第2期生（平成28年度
春期生）
・修了式
第1期生（平成27年度
秋期生）

日時 2016年9月17日(土)
9:00~17:00(予定)

会場 大阪府立大学 I-siteな
んば

※詳細が決まり次第、随時更
新いたします。

委員会活動報告

category

- 平成27年度第3回地域リハビリテーション学コース検討部会 2015年7月8日 13:48
- 平成27年度第3回学士教育プログラム検討部会 2015年6月19日 13:38
- 教育プログラム検討会 2015年6月19日 13:36
- 平成27年度第5回学習支援環境検討部会 2015年6月19日 13:33
- 平成27年度第1回事業統括部会 2015年6月19日 13:31
- 平成27年度第2回地域リハビリテーション学コース検討部会 2015年6月19日 13:15
- 平成27年度第2回学士教育プログラム検討部会 2015年6月19日 11:55
- 学士教育プログラム動画コンテンツ確認検討会 2015年6月19日 11:51
- 平成27年度第1回地域リハビリテーション学コース検討部会 2015年6月19日 11:44
- 平成27年度第1回学士教育プログラム検討部会 2015年6月19日 11:39
- 平成27年度第4回学習支援環境検討部会 2015年5月21日 17:00
- 平成27年度第3回学習支援環境検討部会 2015年4月11日 17:00
- 平成27年度第2回学習支援環境検討部会 2015年4月10日 17:00
- 第7回地域リハビリテーション学履修証明プログラム検討部会 2015年3月5日 18:00
- 第2回学習支援環境検討部会 2015年2月20日 18:00
- 第6回地域リハビリテーション学履修証明プログラム検討部会 2015年1月30日 18:00
- 第4回学士課程教育プログラム検討部会 2015年1月23日 18:00
- 第3回実践評価部会 2015年1月22日 18:00
- 第5回地域リハビリテーション学履修証明プログラム検討部会 2015年1月16日 18:00
- 第2回事業統括部会 2014年12月26日 12:00



コアプロ Facebook

コア・プロジェクト：在宅ケアを支えるリハビリ専門職の育成
理学療法士・作業療法士

大阪府立大学
地域保健学域 総合リハビリテーション学部
大学院 総合リハビリテーション学研究所

いいね！ 93件

大阪府 羽曳野市
はびきの3-7-30

<http://www.core.rehab.osakafu-u.ac.jp/>

2月26日 17:25

コア・プロジェクト：在宅ケアを支えるリハビリ専門職の育成さんが写真2件を追加しました — 場所: I-Site なんぼ

1期生対象、第1回目のスクーリングが先ほど始まりました。会場は「大阪府立大学 I-site なんぼ」。Zepp Nambaの奥、南海ビルの2階です。

2月27日 18:00 本日のイベント

文科学「課題解決型高度技術人材養成プログラム」事業
地域リハビリテーション学コース 演習 2F C3/C33



コア・プロジェクト：在宅ケアを支えるリハビリ専門職の育成さん (大阪府立大学 羽曳野キャンパス)
4月5日 8:11

「地域リハビリテーション学コース」第2期開講！
2016年度春期生のみならず、お待たせいたしました。昨日、コース第2期の開講式がi-siaさんにより開催されました。受講オリエンテーションの後、第1回目のスクーリング（対面授業）も行います。
来年3月までの1年間で120時間の授業を受けていただくこととなります。オンデマンドのe-ラーニングは、自分の好きな時間に受講できるのが利点ですが、勉強ながらの勉強はやはり大変だと思います。計画的に授業視聴を進められますようお願いいたします。
今期よりiPadに加え、自己所有のPCでの受講も可能となり、当初計画より多くの受講生をお迎えできるようになりました。しかし、遠隔授業に伴う情報セキュリティの確保には、受講生の皆様のご理解とご協力が必要です。明日の受講オリエンテーションではその辺り詳しく説明する予定です。
カリキュラムの充実はもとより、今後もより利便性の高い受講環境の整備に努めます。... もっと見る



シェアする

さん、さん、さん、他18人が「いいね！」と言っています。



コア・プロジェクト：在宅ケアを支えるリハビリ専門職の育成
2015年7月31日

大阪府立大学初の履修証明プログラムでもある「地域リハビリテーション学コース」の第1期募集（2015年度秋期生）受付が終了しました。予定定員を大幅に上回るご応募をいただき、事務局一同うれしい悲鳴をあげております。ありがとうございます。
申請結果につきましては、事務局より別途ご連絡差し上げますのでしばらくお待ちください。
遠隔授業環境の関係上、定員を設けさせていただいておりますので、お申し込みいただいた全ての方に受講いただくことができません、誠に申し訳ございません。
本コースは半年ごとに同内容で開講いたします（受講期間は1年間です）ので、第2期以降での受講をご検討いただけますと幸いです。... もっと見る



コア・プロジェクト：在宅ケアを支えるリハビリ専門職の育成
2015年7月24日

本プロジェクトの「地域リハビリテーション学コース」が、大阪府立大学が初めて開設する履修証明プログラムとして、大学公式WEBサイトに掲載されました。
大阪府立大学 > 社会貢献 > 生涯学習 > 社会人のための講座・リカレント教育 > 履修証明プログラム
http://www.osakafu-u.ac.jp/.../recurrent/cert_program.html

履修証明プログラム | 大阪府立大学
公立大学法人大阪府立大学の履修証明プログラムについての情報を掲載しています。
OSAKAFU.U.AC.JP

シェアする



コア・プロジェクト：在宅ケアを支えるリハビリ専門職の育成さん 🙏感謝
2015年7月17日

続々とお申し込みが届いています。ありがとうございます。
第1期生の受講申請は切は今月末までです。引き続きよろしく願っています。
<http://goo.gl/zaWjFC>

第 50 回日本理学療法学会併設企業展示会展示布ポスター





文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」平成26年度選定事業

コア・プロジェクト：在宅ケアを支えるリハビリ専門職の育成
—医療と在宅ケアの連携を推進する人材養成プログラム—

履修証明プログラム『地域リハビリテーション学コース』

スタートアップ・セミナー

日時：2015年 **10月2日（金）** 13:00～14:30

会場：**大阪府立大学 羽曳野キャンパス**

L棟4階 講堂

（コース受講生・大阪府立大学生 対象）

13:00～ 開会挨拶

大阪府立大学 理事長・学長 辻 洋

13:05～ 講演1「課題解決型プログラムの意義と

コメディカル教育に期待するところ」

文部科学省 高等教育局 医学教育課

医療技術係長 吉光 紗綾子 先生

13:25～ 講演2「終末期医療をささえる地域包括ケアのしかけ

～人生を物語としてとらえるナラティブアプローチ～」

医療法人社団ナラティブホーム 理事長

ものがたり診療所 所長 佐藤 伸彦 先生



講演2 講師プロフィール

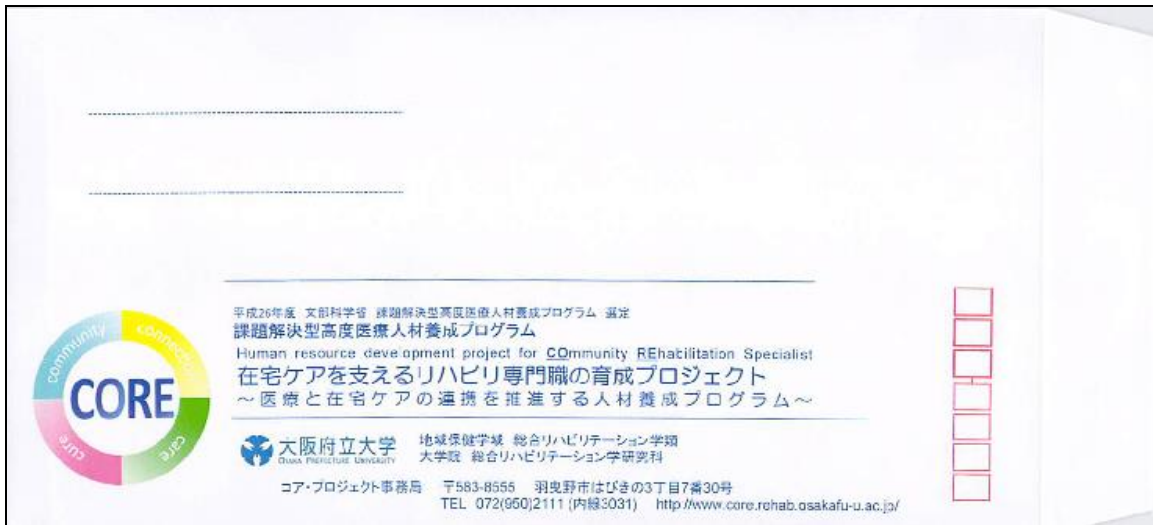
佐藤 伸彦 先生

昭和33年東京生まれ。富山大学薬学部卒業後、同大医学部卒業。
平成21年4月医療法人社団ナラティブホームを立ち上げ、平成22年4月、
砺波市で「ものがたり診療所」をオープン。

お問合せ：大阪府立大学大学院 総合リハビリテーション学研究科
コア・プロジェクト事務局 072-950-2111(内線3031)

資料 71

コアプロ専用封筒（長形）



3. 学士教育プログラム 動画コンテンツ

「在宅リハビリテーション論」

■講義名：家族介護者への健康支援

■担当講師：山下協子先生

■授業日：11月16日、30日

■動画内容：

・ADLシミュレーションシステム（トイレユニット）を使用した、立ち上がり・車椅子幅に必要なトイレの広さについての説明（2本）

・ホイストの形状・使用方法についての説明（6本）

・スライディングシートの使用法についての説明（11本） の計19本

■動画公開期間：10月26日～12月7日

■公開対象：

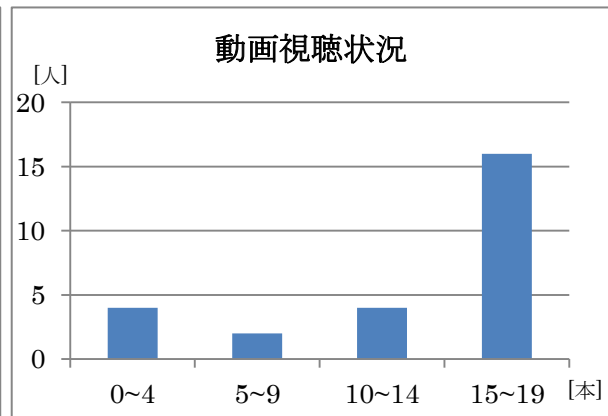
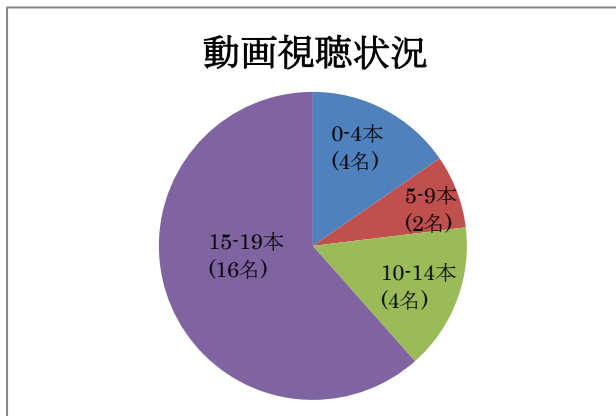
・作業療法学専攻3回生 26名

（理学療法学専攻3回生はiPadを持っていないため、日時を指定して授業前に事前に一度は視聴済み）

■動画視聴状況：

・0-4本を視聴したのが4名(15.3%)、5-9本を視聴したのが2名(7.7%)、10-14本を視聴したのが4名(15.3%)、15-19本を視聴したのが16名(61.5%)であった。

・視聴された時期は11月9日～16日、11月29日～30日であった。



ADLシミュレーション機器

トイレ
I. 手摺りの位置



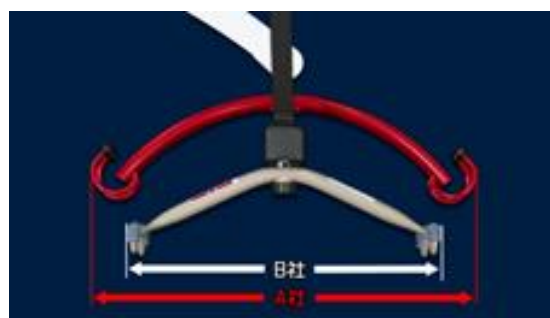
ADLシミュレーション機器

トイレ
II. トイレのスペースによる動作や介助の影響



ホイスト

ハンガー輪(吊り下げ金具)
1. ハンガー幅と吊り姿勢
1) ベルトスリングと脚分離ハイバックスリング



ホイスト II

移乗方法
1. 脚分離ハイバックスリング
1) ベッドからリクライニング車いすへの移乗



ホイストⅡ

移乗方法

- 1.脚分離ハイバックスリングa
- 2)リクライニング車いすからベッドへの移乗



ホイストⅡ

移乗方法

- 2.脚分離ハイバックスリングB
- 1)ベッドからリクライニング車いすへの移乗



ホイストⅡ

移乗方法

- 3.脚分離ハーフスリング
- 1)ベッド上半臥位から標準型車いすへの移乗



ホイストⅢ

適合

- 1.ベッドセットと線レールの選定方法



スライディングシート II

特 性



スライディングシート III

ベッド上での位置調整

1. 対象者を脚側から頭側へ移動する介助方法
(1) 脚部を自力で上げられる対象者の場合



スライディングシート III

ベッド上での位置調整

1. 対象者を脚側から頭側へ移動する介助方法
(2) 脚部を上げられない対象者の場合



スライディングシート III

ベッド上での位置調整

2. 対象者を手前から奥へ移動する介助方法



スライディングシート Ⅲ

ベッド上での位置調整

- 3.シートを用いずに対象者を奥から手前へ移動する介助方法



スライディングシート Ⅳ

移乗

- 1.ベッドからリクライニング車いすへの移乗介助方法



スライディングシート Ⅳ

移乗

- 2.リクライニング車いすからベッドへの移乗介助方法



スライディングシート Ⅴ

ベッド上動作 介助時の姿勢

- 3.介助者が自身の体重移動を用いて対象者を移動した場合



スライディングシート V

ベッド上動作 介助時の姿勢

4. 介助者が手の力のみで対象者を移動した場合



スライディングシート VI

車いすからベッドへの直角移乗

1. スライディングシートを用いない場合



スライディングシート VI

車いすからベッドへの直角移乗

2. スライディングシートを用いた場合



文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」平成 26 年度選定

在宅ケアを支えるリハビリ専門職の育成

——医療と在宅ケアの連携を推進する人材養成プログラム——

CORE Project 平成 27 年度活動報告書

発行日 平成 28 年 4 月

発行者 公立大学法人大阪府立大学大学院総合リハビリテーション学研究科
〒583-8555 大阪府羽曳野市はびきの三丁目 7 番 30 号
TEL/FAX : 072-950-2973 (直通) 072-950-2111 (代表)
<http://www.core.rehab.osakafu-u.ac.jp/>

印刷 株式会社 TOP 印刷
〒587-0021 大阪府堺市美原区小平尾 750 番地 3
TEL : 072-363-3155



在宅ケアを支える
リハビリ専門職の
育成プロジェクト

Human resource development project for **CO**mmunity **RE**habilitation Specialist